

附属資料

メキシコ教育テレビ研修センターに関する

① プロジェクト関連資料

目次

(1) プロジェクトの進捗状況

- a. カウンターパート育成状況状況評価表・・・・・・・・・・ 1
- b. 技術移転実施上の問題点・・・・・・・・・・ 3
- c. カリキュラムの整備・見直し状況・・・・・・・・・・ 6
- d. 教材の整備状況と今後の作成計画・・・・・・・・・・ 7
- e. カリキュラム・教材整備上の問題点・・・・・・・・・・ 8
- f. 供与機材の活用状況・保守管理状況・・・・・・・・・・ 9
- g. 訓練コース実施状況・・・・・・・・・・ 22
- h. 訓練コース実施上の問題点・・・・・・・・・・ 25
- i. 合同委員会・作業委員会開催状況・・・・・・・・・・ 26

(2) プロジェクトの実施体制

- a. カウンターパートを含むインストラクター及びオペレーターの確保状況・・・・・・・・・・ 27
- b. 予算請求、予算執行体制の現状・・・・・・・・・・ 29
- c. 当センターに従事するスタッフの処遇を含む人事管理体制・・・・・・・・・・ 30
- d. 機材の維持・管理体制・・・・・・・・・・ 32
- e. 訓練コース受講生の募集・選抜の方法・・・・・・・・・・ 33

(3) プロジェクトの実施環境

- a. UTE、CETEの組織図最新版・・・・・・・・・・ 35
- b. 予想される今後のCETEの運営形態・・・・・・・・・・ 36

(4) プロジェクトと上位計画との位置付け、プロジェクト実施の前提条件及び

外部条件の再確認

- a. 開発計画等の上位計画における本プロジェクトの位置付けの変化・・・・・・・・ 37
- b. 民間テレビ局を含む教育テレビ放送の現状・・・・・・・・・・ 38

(5) メキシコ側から予想される要望事項及び調査団との協議要望事項・・・・・・・・ 41

(6) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

(1) - a. カウンターパート育成状況評価表 (制作・保守技術)

1998年7月現在

氏名	生年月日	配置年月	学歴	職	位	技術習得能力	教材作成能力	機材操作能力	機材管理能力	訓練計画作成能力	訓練評価能力	クラス運営能力	教科指導能力					備考						
													カメラ技術	照明技術	音声技術	ポス・プロ技術	映像技術		保守・整備技術					
アルトゥーロ・サンタマリア Arturo Santamaria A.	55.08.18	91.09.01	大学	カウンターパート		B	A	B	A	B	B	B	B											
エルネスト・オルテガ Ernesto Ortega G.	65.07.20	92.01.15	大学	カウンターパート		B	B	B	B	B	X	X		B	B							92年10月 C/P 任命 見送り、 93年退職		
マルコ・ガルシア・ホルム Marco Garcia H.	65.01.14	92.10.16	大学	カウンターパート		B	A	B	B	B	B	B		B	B									
ハイメ・モラレス Jaime Morales R.	88.02.21	93.06.16	大学	カウンターパート	アシスタント・ カウンターパート	X	X	X	X	X	X	X		X	X									
カルロス・ガルシア Carlos Garcia Q.	54.06.19	91.10.01	大学	カウンターパート		B	A	B	A	A	B	B												
ルイス・マヌエル・エルナンデス Luis Manuel Hernandez G.	55.01.07	92.03.01	大学	カウンターパート		B	A	B	B	B	B	B												93.06.15 依頼退職
エクトール・セラヤ Héctor Celaya L.	65.07.03	93.06.01 CET配属 93.06.16 C/P 任命	大学	カウンターパート		B	B	B	B	B	B	X												

*評価基準 A: 評価時点でほぼ修得完了 B: 現在のペースで指導を続けられB/D終了時までには修得可能 C: R/D終了時までには修得完了するに
はかばかしの努力を要する D: R/D終了時までには修得するのは不可能 X: 評価不能

カウンタパート育成状況評価表 (番組制作)

1993年 7月現在

氏名	生年月日	配置年月	学歴	職位	番組制作能力	教材作成能力	訓練計画作成能力	訓練評価能力	クラス運営能力	教科指導能力				備考
										基礎理論	基礎実習	上級理論	上級実習	
ネスタル・エンリケ・ペナル・バルデス NEFTALI ENRIQUE PEÑAFLORES VALDEZ	1955.03.06	1991.09.01	大学	カウンタパート	A	B	A	B	A	B	A	B	B	
ルイス・ミゲル・リベロ・ロペス LUIS MIGUEL RIVERO LOPEZ	1959.04.24	1992.10.16	大学	カウンタパート	B	B	B	B	B	B	A	B	B	
ネスタル・アントニオ・ロドリゲス・ガルシア NESTOR ANTONIO RODRIGUEZ GARCIA	1955.02.26	1992.05.01	大学	アシスタント カウンタパート	B	B	B	B	B	B	A	B	B	

*評価基準

- A: 評価時点ではほぼ修得完了
- B: 現在のベースで指導を続けられればR/D終了時までに修得可能
- C: R/D終了時までに修得完了するにはかなりの努力を要する
- D: R/D終了時までに修得するのは不可能
- X: 評価不能

(1) - b 技術移転実施上の問題点

<i> 本邦支援要望事項

1. C/Pの日本での研修受入れをスムーズに進めて欲しい。今年度の第1四半期に予定していた分が、秋に回されてしまったため、年間の指導計画に支障を生じた。受入れ時期等についての情報も早めに欲しい。
2. C/Pの日本での研修受入れの正式通報が遅すぎるので改善して欲しい。集団コースは1か月前に来るが、C/P研修は2週間くらいしか余裕がない。留守中の業務のカバーも方針が立て難い。
3. 短期派遣専門家についても、派遣時期や派遣者の氏名の連絡を早くして欲しい。特別コースのカリキュラム作成や携行機材についての打合せに2か月程度の準備期間が必要である。
4. 今年度の第1四半期に予定していたテレビ・カメラ技術の短期専門家が、これまた秋に延期されたが、今年は特殊事情で止むを得ないとしても、次年度以降は年間計画に支障を来さないようにして欲しい。派遣時期については、プロジェクト側の都合を最大限尊重して欲しい。
5. 短期派遣専門家の派遣前に、プロジェクト側の専門家と連絡・打合せの出来る時間を十分に与えて欲しい。
6. 長期派遣専門家(横井専門家の後任)の氏名・赴任時期等を早く決定して欲しい。また少なくとも10日ほど、現地での引き継ぎ日時を置いて欲しい。
7. 93年度供与機材の現地到着と据え付けを早めて欲しい。9月末には据え付けを完了させたい。
8. 93年度供与機材の内、車両は現地調達で申請しているのは、早期購入が必要だからである。早期の送金を要請したい。
9. 供与機材の契約状況や外務省協議の進捗状況を、きめ細かく知らせて欲しい。
10. 本プロジェクトの長期計画では、最終年度である95年には第3国研修を実施する予定になっている。94年度にその試行をしたいので、若干の予算を用意して欲しい。(別紙《関連資料》参考)
11. 本研修センターは、北米・中米地域の教育放送関係者の注目を集めている。その結果、他の国からの視察に来る者も多く、コースへの外国からの参加希望者も出て来ている。これらの人々ようのプロモーション用パンフレットの制作費を用意して欲しい。
12. 隣国エル・サルバドルからは、本センターのインストラクターに指導に来て欲しいとの要請が来ており、C/Pの誰かを派遣する線で検討を進めている。これに、専門家も同行できるように、現地業務費で配慮して欲しい。

<ii> その他のJICA, NHKへの要望事項

1. 健康管理旅行の取得時期の制限の緩和
2. 健康管理旅行を利用して、本邦での健康診断受診の許可
3. 高地健康管理旅行の適用地の弾力的拡大
4. 家族呼び寄せの対象に妻を含めて欲しい。また、日本国内では常識化している

- 単身赴任手当を海外勤務者にも支給して欲しい。
5. 住宅手当に、同伴家族構成の要素も加味して欲しい。
 6. 休暇を利用しての任国外旅行の行き先についての制限の緩和

<iii> 先方機関への改善要望事項

1. C E T E 独自予算の確立と予算額の明示と増額（93年度の承認予算は明示されたものの話にならないほどの小額である。93年度のみでなく、94年度についても、増額を強く要請したい）
2. C E T E 要員のポストの確立と安定した雇用形態（現在38のポストが与えられているが、雇用形態は3か月ごとに更新される臨時要員契約である）
3. C/Pは比較的安定して来たが、他の要員の出入りが激しい。その理由は、C E T E 側が再契約しないケースもあるが、給与の安さから他の機関に移るケースもありさまざまである。要員がより永続的に勤務するような措置を取って欲しい
4. 給与の遅配、欠配をなくして欲しい（今年1～3月にかけて給与の遅配があり要員の士気の低下を来した。また、新規契約者の給与は、1～2月の遅配が通例である）
5. 技術オペレーターの増員（現在、技術オペレーターは1クルーのみで、勤務時間も、9時～16時に限られているので、研修時間の設定にフレキシビリティを欠いている。また、せっかくポストプロ室が2室完備しているにもかかわらず、2室を並行させての運用ができない。機器の稼働率も低くなる恐れがあり、同時に多くのコースを開講できない不便も生じている。技術オペレーターを2クルーとしたいが、技術オペレーターについては、RDにも触れられていないので要求しにくい面もある。なお、スタジオを使用しない場合は、現状でもポストプロ室の並行運用は可能である。）
6. アシスタント・カウンターパートの増員（RDでC/Pの数は、専門家1人につき2人と規定されているが、これでは全部で8～10のコースを維持するには不十分であり、また転職等で欠員が生じた時に対応不能となる。現在、数次の折衝の結果2名のアシスタント・カウンターパートの指名を得たが、さらに増員を働きかけたい）
7. 技術オペレーターの給与改善（現在、オペレーターの給与は1000ペソ＝330ドルと決められているが、これはメキシコの技術者の水準から見ればかなり低いもので、他局から一寸よい条件で誘われれば、簡単に転職してしまうおそれがある）
8. カウンターパートの給与の見直しシステムの確立（C/Pの給与は、RD締結に関する話し合いの中で、民放なみと言うことが約束されていて、現在2000ドル相当が支払われている。しかし、民間の研修機関では、テレビ技術関係のインストラクターに、3500～4000ドル払っているところもあり、また民放局では毎年の昇給システムがあるのに対して、C E T E では将来の給与改善の保証がないなどのこともあって、C/Pにとって2000ドルはそれほど魅力的なものではなくなって来ている。何らかの改善方法を考えないと、優秀な人材は転職してしまう恐れがある）
9. 機材のメンテナンス契約用の予算の準備（C E T E に供与された機材は新品なので、いまの所は故障は少ないが、そろそろ来年94年度ぐらいからは、故障修理の必要が生じてくるものと思われる。文部省の財務担当にメンテナンスの必要性を強く働きかけて欲しい）

(1) - b 技術移転実施上の問題点 <1> 本邦支援要望事項」の10項関連

メキシコ教育テレビ研修センターにおける第3国研修試行提案

メキシコ教育テレビ研修センター（CETE）では、RD期間の第5年次にあたる95年度に、第3国（主としてスペイン語圏の諸国）からの研修生を受け入れることが、計画スケジュールに組み込まれているが、その前年度にあたる94年度にも、一部のコースを第3国からの参加者に開放し、次年度からの第3国研修の全面的実施の試行を行い、種々のデータを得るとともに、実施上の問題点なども明らかにしていきたい。

1. 実施内容

CETEの通常コース8コースのうち、「番組制作基礎」と「カメラ撮影実習」の2コースに第3国からの研修生を受け入れる。

2. 参加者

中米のグアテマラ、ホンデュラス、エル・サルバドル、ニカラグア、コスタリカ、パナマの6か国から、各コース1人ずつ計12人

3. 参加者のレベル

経験年数3年以上5年未満の番組制作ディレクター（プロデューサー）と経験年数2年以上7年未満のロケーション・カメラマン

4. 期日

1994年8月に4週20日間の2コースを並行して実施

5. 必要経費 合計 53000米ドル（邦貨583万円）

(1) 参加者旅費・ノーマルエコノミー航空運賃

500米ドル×12人=6000米ドル

(2) 参加者宿泊費・日当

100米ドル×28日×12人=33600米ドル

(3) 教材作成費・施設運用費 10000米ドル

(4) 会議費 2000米ドル

(5) 諸雑費（車雇上、文房具購入他） 1400米ドル

6. 参加者旅費・宿泊費については、JICAに規定があればそれに準じて補正する。

(1) - c. カリキュラムの整備・見直し状況

各コースのカリキュラムについては、それぞれのコースのテキストの項目配列がそのままコースの基本カリキュラムとなっており、作成済みと言える。(昨年度調査団資料参照)。現在はその内容を踏まえて、各コースの担当カウンターパートがCETEの教務部門の協力(教育学、教育心理学のライセンスを持つものが担当)を得て実施コースごとにより細密なカリキュラムを作成、専門家はその指導・助言に当たっている。

この実施コースごとの細密なカリキュラムをテマリオ(Temario)と呼び、原則として作業委員会の場で検討を加えている。

(1) - d. 教材の整備状況と今後の作成計画

各コースとも実施中

教材作成状況 (A=完成 B=ほぼ完成 C=準備中 D=計画段階)

No	コース名	教材名	教材種類	作成時期	作成者	作成状況
1	カメラ技術	Operacion de Camaras de Television	テキスト	91年度第4四半期	大井専門家	A
2	照明技術	Tecnica de Iluminacion Iluminacion	テキスト ビデオ	91年度第4四半期 92年度第4四半期	大井専門家 吹き替え	A A
3	音声技術	Fundamentos Basicos de Audio para Television Audio	テキスト ビデオ	91年度第4四半期 92年度第4四半期	大井専門家 吹き替え	A A
4	編集技術	Edicion y Postproduccion de Television Edicion	テキスト ビデオ	91年度第4四半期 92年度第4四半期	大井専門家 吹き替え	A A
5	保守整備技術	Manual de Mantenimiento y Alineamiento de Equipos de T.V. VTR modelo BVU-950 (U-Magic)	テキスト ビデオ	91年度第4四半期 92年度第4四半期	横井専門家 吹き替え	A A
6	映像技術とVTR技術	Fundamentos de la Tecnica de Video y VTR Grass Valley DIM-700 BVW-75 1/247	テキスト ビデオ ディスク	91年度第4四半期 93年度第2四半期 92年度第4四半期	横井専門家 吹き替え 購入	A A A
7	番組制作(基礎)	Produccion basica para television	テキスト	91年度第4四半期	船山専門家	A
8	番組制作(上級)	Produccion avanzada para television 視覚化の技法 ロケーション 図表・化粧・衣装 映像特殊効果	テキスト ビデオ ビデオ ビデオ ビデオ	91年度第4四半期 93年度第3～ 第4四半期	船山専門家 吹き替え 吹き替え 吹き替え 吹き替え	A C C C C
9	特別研修 スタジオ美術	Introduccion a la Escenografia Artistica en T.V.	テキスト	92年度第3四半期	星野専門家	A

D: 上記のほかに各コース2種程度の視聴覚教材作成(CETEにて作成)を計画中。

(1) - e. カリキュラム・教材整備上の問題点

(i) 本邦支援要望事項

テキストについて定例の各コース1冊ずつ8種を作成済みであるが、現状に即した改訂、内容の見直し、充実が必要となってきた。8種すべてを1年度で行うのは負担が大きいため、プロジェクト4年次に4種、5年次に残り4種について作成したい。メキシコでは印刷製本のコストが非常に高い。CETE側の努力も促していくが、予算面での支援をお願いしたい。

また、研修効果の高い視聴覚教材を充実していきたい。具体的には各コース2種ずつ程度をCETEで作成する予定である。これについても予算面での支援をお願いしたい。

(ii) 先方機関への改善要求事項

1. 教材整備予算の充実。
2. 教務部門にテレビ放送に詳しい人員の配置（現状では要求するまでにいない）。
3. コースの評価システムの確立。現在は教務部門が実施コースごとに受講生へのアンケートを行っている程度。

(1) - f. 供与機材の活用状況・保守管理状況

C E I T E 供与機材一覧表 (1)

NO	主要機材・器具	型式(メーカー)	品数	竣工年度	着工	サイキョク	竣工年度	金額(千円)	設置場所	利用状況	管理状況	備考
91-C-L-001	1/2インチ取録再生機	BVW-75 (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	5,524.6	スタジオ	A	A	
91-C-L-002	CCDハンディカメラ	EVP-7 (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	2,999.2	ロケ準備室	A	A	
91-C-L-003	レンズ	A14x8.5ERM (フジノン)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	1,480.7	"	A	A	
	クロスアップレンス	ECL-877B (フジノン)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	27.8	"	B	A	
	ワイドアタチメント	WAT-80B (フジノン)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	65.15	"	B	A	
	フィッシュアイ	FAT-80 (フジノン)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	130.3	"	B	A	
	サニーフイルター	EFL-77SC (フジノン)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	13.0	"	B	A	
	スクリーンフィルター	EFL-77CS (フジノン)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	13.0	"	B	A	
	スノーフィルター	EFL-77SN (フジノン)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	13.0	"	B	A	
	ソフトフィルター	EFL-77SF (フジノン)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	13.0	"	B	A	
91-C-L-004	1/2インチ取録機	BVV-5 (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	1,888.9	"	A	A	
91-C-L-005	カメラ用ACアダプター	AC-500 (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	86.7	"	B	A	
91-C-L-006	バッテリーチャージャー	BC-210 (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	86.7	"	A	A	
91-C-L-007	バッテリーケース	DC-500 (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	27.8	"	B	A	
	バッテリー	BP-90A (ソニー)	6	1991	1992.02	1992.02	1992.03	156.0	"	A	A	
91-C-L-008	三脚	TH-50 (HEIWA)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	144.9	"	A	B	破損修理済
91-C-L-009	三脚ソフトケース	SC-5 (HEIWA)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	28.7	"	B	A	
91-C-L-010	三脚用ボールベアラー	BL-75 (HEIWA)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	11.3	"	B	A	
91-C-L-011	三脚用ブラケットベース	FB-5 (HEIWA)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	7.6	"	B	A	
91-C-L-012	三脚ドリー	DL-5S (HEIWA)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	33.8	"	B	A	
91-C-L-013	Sインテリジェントモニター	PVM-8020 (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	98.4	"	B	A	
91-C-L-014	13インチカラーモニター	PVM-1341 (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	175.8	スタジオ	B	A	
91-C-L-015	波形モニター	1730 OP90 (テクトロ)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	338.0	ロケ準備室	B	A	
91-C-L-016	ベクトルスコープ	1720 OP90 (テクトロ)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	338.0	"	B	A	
91-C-L-017	ライツキット一式	LAV-4 (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	108.4	"	B	A	
	予備ランプ (650W)	B6-32 (ソニー)	10	1991	1992.02	1992.02	1992.03	43.2	"	B	A	
91-C-L-018	レフ板 (三脚、ケース)	SP-ロールレフ (RDS)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	45.4	"	B	A	
91-C-L-019	ACアダプター	BK-501K (HATAYA)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	53.0	"	A	A	
91-C-L-020	マイクアーム	604 (ZENETSU)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	46.0	"	A	A	
91-C-L-021	コンデンサーマイク	MKH-416P (ゼンハイザー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.03	158.5	"	A	A	

NO: 91年度、K-旅行機材、C-供与機材、S-スタジオ、E-福楽室、L-ロケ準備室、J-事務室、Y-教室、M-保守教室、O-その他

CEITE 供与機材一覧表 (2)

NO	主要機材・器具	型式 (メーカー)	品数	発注 年度	発着 年月	サイ ト 着 月	発着 年月	積 貯 年 月	積 貯 年 月	利用状況	管理状況	備考
91-C-L-022	カセットデッキ	TC-D5PRO-2 (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	114.8	ロケ機備室	A	A
91-C-L-023	ヘッドホン	MDR-CD950 (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	15.7	"	A	A
91-C-L-024	音声ミキサー (AC含)	SS-302 (SIGMA)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	328.0	"	A	A
91-C-L-025	コンデンサマイク	ECM-77B (ソニー)	2	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	111.2	"	A	A
91-C-L-027	ダイナミックマイク	MO-211 (SANKEN)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	38.2	"	A	A
91-C-L-053	ワイヤレスマイク	WRT-67 (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	182.24	"	A	A
91-C-L-028	ワイヤレス式 (送信機)	WRT-28H (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	156.7	"	B	A
91-C-L-029	ワイヤレス式 (受信機)	WRR-37 (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	986.7	"	B	A
91-C-Y-030	オートヘッドリフト	BTA-37 (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	30.4	"	B	A
91-C-Y-033	オートヘッドリフト	HP-A290 (エルモ)	3	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	194.4	"	A	A
		HW-3型 (エルモ)	3	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	上記含む	"	A	A
		JC24V-250W (エルモ)	6	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	270.6	"	C	A
91-C-Y-036	白板 (固定型)	BB-H236W1 (コクヨ)	3	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.08	703.4	"	B	A
91-C-0-039	白板 (移動型)	BB-R236W1W1 (コクヨ)	3	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	上記含む	"	B	A
91-C-0-042	白板 (コピー型)	BB-VR36W (コクヨ)	2	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	上記含む	"	B	A
91-C-J-044	ワールドプロセッサ	α7スーパー型 (キヤノン)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	139.4	専門系事務室	A	A
	英文字ベルコレクター	CW-FS79	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	上記含む	"	A	A
	3.5インチフロッピーディスク	MF2DD (FUJIFILM)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	上記含む	"	A	A
	インクカートリッジ	BC-01 (キヤノン)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	上記含む	"	A	A
91-C-J-045	コピー機	FT-2260 (リコー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	471.0	"	A	B
	専用台	タイプ2000 (リコー)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	上記含む	"	A	A
	用紙	A3, A4, B4, B5	4	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	上記含む	"	A	A
91-C-J-046	ハードディスクユタ	PC-9801DX2 (NEC)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	294.7	"	A	A
91-C-J-047	CRTディスプレイ	PC-KD881 (NEC)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	112.0	"	A	A
91-S-J-048	プリンター	PC-PR201/60 (NEC)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	127.5	"	A	A
	マウス	PC-9872R (NEC)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	11.7	"	A	A
	ソフトウェア	MS-DOS, 一太郎 (NEC)	1	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.03	215.1	"	A	A
	1/4インチVTR (30分)	V-16-34A (ソニー)	15	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.08	299.4	テープ倉庫	B	A
	1/4インチVTR (60分)	V-16-64A (ソニー)	15	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.08	472.8	"	B	A
	1/2インチVTR (20分)	BCT-20GL (ソニー)	150	1991	1992.02	1992.02	1992.02	1992.08	354.0	"	A	A

NO: 91-年度, K-携行機材, C-供与機材, S-スタジオ, E-編集室, L-ロケ機備室, J-事務室, Y-教室, M-保守教室, O-その他

CITE 供与機材一覽表 (3)

NO	主要機材・器具	型式(メーカー)	品数	年度	着	サイ	種	設置場所	利用状況	管理状況	備考
	1/2kWTR7 (20分)	BC T-20ML (ソニー)	75	1991	1992.02	1992.02	316.5	テープ倉庫	A	A	
	1/2kWTR7 (60分)	BC T-60ML (ソニー)	25	1991	1992.02	1992.02	161.5	"	A	A	
	3/4VTR7 (30分)	KSP-30 (ソニー)	50	1991	1992.02	1992.02	240.5	"	A	A	
	βVTR7	L-500UH (ソニー)	50	1991	1992.02	1992.02	79.0	"	B	A	
	βVTR7	HF-PR060E (ソニー)	50	1991	1992.02	1992.02	28.5	"	B	A	
	6mmオーディオテープ	PLN-740BP (ソニー)	50	1991	1992.02	1992.02	124.5	"	B	B	
	βVTR7	ハサミ含む (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	1.5	"	C	A	
	1/2kWTR7	BR5-2 8-944-005-03 (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	58.0	"	C	A	
	3/4VTR7	RP5-1SD 8-980-037-80 (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	28.1	"	C	A	
	1/2kWTR7	CR5-2A 8-960-097-44 (ソニー)	2	1991	1992.02	1992.02	29.8	"	C	A	
	1/2kWTR7	CR8-1A 8-960-097-45 (ソニー)	2	1991	1992.02	1992.02	18.6	"	C	A	
	1/2kWTR7	CR5-1B 8-960-086-41 (ソニー)	2	1991	1992.02	1992.02	49.8	"	C	A	
	3/4VTR7	KCS-1CL (ソニー)	1	1991	1992.02	1992.02	2.1	"	B	A	
	βVTR7	L-25CLN (ソニー)	2	1991	1992.02	1992.02	4.6	"	B	A	
91-C-S-049	鋼光盤	新規製作 (RDS)	1	1991	1992.03	1992.04	4,829.4	スタジオ	A	A	
91-C-S-050	鋼光ラック	新規製作 (RDS)	1	1991	1992.03	1992.04	18,021.2	"	A	A	
91-C-S-051	コントロールコンソール	新規製作 (RDS) (含む椅子)	1	1991	1992.03	1992.04	4,054.9	"	A	A	
	バトン (4 m球状)	新規製作 (RDS)	18	1991	1992.03	1992.04	20,483.0	"	A	A	
	バトン (5 m球状)	新規製作 (RDS)	4	1991	1992.03	1992.04	5,348.0	"	A	A	
	バトン (4 m球状)	新規製作 (RDS)	2	1991	1992.03	1992.04	2,332.8	"	A	A	
	バトン (5 m球状)	新規製作 (RDS)	3	1991	1992.03	1992.04	3,635.7	"	A	A	
	バトン (4 m球状)	新規製作 (RDS)	4	1991	1992.03	1992.04	4,165.6	"	A	A	
91-C-S-052	バトン昇降装置パネル	新規製作 (RDS)	1	1991	1992.03	1992.04	1,211.9	"	A	A	
	照明器具 (7m球状)	新規製作 (RDS)	1	1991	1992.03	1992.04	1,931.8	"	A	A	
	照明器具 (7m球状)	UHQ-10 (C) (RDS)	34	1991	1992.03	1992.04	2,528.4	"	A	A	
	照明器具 (7m球状)	LHQ-10 (RDS)	80	1991	1992.03	1992.04	2,281.6	"	A	A	
	照明器具 (1kW球状)	LPS-10A (RDS)	20	1991	1992.03	1992.04	1,294.0	"	A	A	
	照明器具 (2kW球状)	LPS-20A (RDS)	5	1991	1992.03	1992.04	410.0	"	A	A	
	照明器具 (3kW球状)	LPS-30A (RDS)	5	1991	1992.03	1992.04	729.0	"	A	A	
	照明器具 (5kW球状)	LPS-50A (RDS)	1	1991	1992.03	1992.04	153.0	"	A	A	

NO: 91-年度、K-横行機材、C-供与機材、S-スタジオ、E-編集室、L-ローケ装置、J-事務室、Y-教室、M-保守教室、O-その他

CEIT 供与機材一覧表 (4)

NO	主要機材・器具	型式 (メーカー)	品数	供与年度	発着育	サイト育	発着育	年(千円)	般置場所	利用状況	管理状況	備考
	照明器具 (1.5kw以上)	IQB-2011 (RDS)	5	1991	1992.03	1992.04	1992.08	265.5	スタジオ	A	A	
	照明器具 (2.5kw以下)	SF-25E (RDS)	5	1991	1992.03	1992.04	1992.08	902.0	"	A	A	
	照明器具 (1kw以下)	EQS-10 (RDS)	1	1991	1992.03	1992.04	1992.08	125.7	"	B	A	
	上記付属 (加工用)	ESM (RDS)	1	1991	1992.03	1992.04	1992.08	125.7	"	B	A	
	" (加工用)	EDM (RDS)	1	1991	1992.03	1992.04	1992.08	135.7	"	B	A	
	" (加工用)	ESC (RDS)	1	1991	1992.03	1992.04	1992.08	30.0	"	B	A	
	" (加工用)	SM (RDS)	10	1991	1992.03	1992.04	1992.08	39.2	"	B	A	
	" (加工用)	DM (RDS)	10	1991	1992.03	1992.04	1992.08	159.5	"	B	A	
	" (加工用)	MC (RDS)	10	1991	1992.03	1992.04	1992.08	30.0	"	B	A	
	(加工用)	OL-4 (RDS)	1	1991	1992.03	1992.04	1992.08	52.9	"	B	A	
	(加工用)	OL-6 (RDS)	1	1991	1992.03	1992.04	1992.08	52.9	"	B	A	
	" (加工用)	HF-3 (RDS)	1	1991	1992.03	1992.04	1992.08	11.6	"	B	A	
	" (加工用)	DF-1 (RDS)	1	1991	1992.03	1992.04	1992.08	22.9	"	B	A	
	キヤノン付用	105-2 (RDS)	2	1991	1992.03	1992.04	1992.08	52.3	"	A	A	
	テレスコピックハンガー	TH7-6 (RDS)	15	1991	1992.03	1992.04	1992.08	826.95	"	A	A	
	テレスコピックハンガー	TH7-15R (RDS)	10	1991	1992.03	1992.04	1992.08	705.0	"	A	A	
	照明スタンド	780 (RDS)	2	1991	1992.03	1992.04	1992.08	48.2	"	A	A	
	照明ハイスタンド	790 (RDS)	2	1991	1992.03	1992.04	1992.08	79.2	"	A	A	
	照明ペーサスタンド	782 (RDS)	2	1991	1992.03	1992.04	1992.08	12.4	"	A	A	
	操作棒 (3m)	3mカーボン	2	1991	1992.03	1992.04	1992.08	202.8	"	A	A	
	操作棒 (4m)	4mカーボン	2	1991	1992.03	1992.04	1992.08	202.8	"	A	A	
	カラーフィルム	各色	1	1991	1992.03	1992.04	1992.08	292.0	"	A	A	
	照明器具 (加工用)	930-6 (RDS)	1	1991	1992.03	1992.04	1992.08	58.3	"	B	A	
	照明器具 (加工用)	971 (RDS)	1	1991	1992.03	1992.04	1992.08	531.3	"	B	A	
	スタンド (加工用)	150-2 (RDS)	4	1991	1992.03	1992.04	1992.08	145.0	"	B	A	
	ホイスト (巻き上げ機)	新規製作 (RDS)	3	1991	1992.03	1992.04	1992.08		"	A	A	
	各種ランプ	各種 (RDS)	多数	1991	1992.03	1992.04	1992.08	4,732.8	"	B	A	
	各種工具	各種	多数	1991	1992.03	1992.04	1992.08	916.7	"	B	A	
	記録材料	各種	多数	1991	1992.03	1992.04	1992.08	7,116.48	"	B	A	
	その他消耗品	各種	多数	1991	1992.03	1992.04	1992.08	1,002.32	"	B	A	

NO: 91-年販, K-飛行機材, C-供与機材, S-スタジオ, E-編纂, L-ローグ準備, J-事務室, Y-教意, M-保守教室, O-その他

CFR 供与機材一覧表 (5)

NO	主要機材・器具	型式 (メーカー)	品数	年度	発着	着	着	費用 (円)	設置場所	利用状況	管理状況	備考
91-C-S-053	スタジオリカメラ	BVP-270型 (ソニー)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	16,437.0	スタジオ	A	A	
91-C-S-056	ビデオアインダー	BVF-70A型 (ソニー)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	2,591.5	スタジオ	A	A	
	台本台	BKP-3614型 (ソニー)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	264.6	スタジオ	A	A	
91-C-S-059	レンズ	A20X7ES型 (フジノン)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	17,549.7	スタジオ	A	A	
91-C-S-062	カメラ制御盤	CCU-370型 (ソニー)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	6,686.4	スタジオ	A	A	
	ラックマウント		3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	278.7	スタジオ	A	A	
91-C-S-065	マスター調整器	MSU-350、VCS-350型 (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,207.4	スタジオ	A	A	
91-C-S-066	リモート制御パネル	RCP-372型 (ソニー)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,115.4	スタジオ	A	A	
	リモートケーブル		9	1991	1992.04	1992.04	1992.08	250.9	スタジオ	A	A	
	カメラケーブル	CCU-K50型 (ソニー)	4	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,192.0	スタジオ	A	A	
91-C-S-069	カメラ支持台	TP-46、TE-12、T37S型 (高砂KK)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	9,686.0	スタジオ	A	A	
91-C-S-072	モニター台		4	1991	1992.04	1992.04	1992.08	3,222.0	スタジオ	A	A	
91-C-S-076	1時VTR	BVH-3000型 (含むTES、他) (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	14,446.8	スタジオ	B	A	
	1/2時VTR付風品	BW-75型用TBC、他 (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	175.8	スタジオ	B	A	
91-C-S-077	3/4時VTR	BVH-950型 (含むTBC、他) (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	2,528.4	スタジオ	B	A	
91-C-S-078	映像スイッチャー	GVG-200-1N (ケラカール)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	16,633.9	スタジオ	A	A	
91-C-S-079	カラーモニター	BVH-1310型 (含むVTR) (ソニー)	2	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,522.2	スタジオ	A	A	
91-C-S-081	カラーモニター	PVM-1341型 (ソニー)	13	1991	1992.04	1992.04	1992.08	2,285.4	スタジオ	A	A	
91-C-S-084	カラーモニター	PVM-2030型 (ソニー)	5	1991	1992.04	1992.04	1992.08	915.7	スタジオ	A	A	
91-C-S-089	9時カラーモニター	PVM-8220型 (ソニー)	4	1991	1992.04	1992.04	1992.08	419.2	スタジオ	A	A	
91-C-S-103	カラーテレビ	KV-1414WR型 (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	60.3	スタジオ	A	A	
91-C-S-104	同期発生装置	1410R型 (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	844.7	スタジオ	A	A	
	CB信号発生モジュール	TSG-7型 (")	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	304.3	スタジオ	A	A	
	コンジェンシス発生装置	TSG-2型 (")	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	86.3	スタジオ	A	A	
	映像・同期分配器	VDA/PDA/PRV-100 (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	2,066.6	スタジオ	A	A	
91-C-S-105	ビデオタイプライター	VW-240-SP型 (FOR-A)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	667.9	スタジオ	A	A	
91-C-S-106	ビデオタイマー	VTG-55B型 (服来)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	277.0	スタジオ	A	A	
	TBCセレクター		1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	511.2	スタジオ	A	A	
	LDセレクター		1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	395.5	スタジオ	A	A	
	簡易VTRセレクター		1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	511.1	スタジオ	A	A	

NO: 91-年度、K-携行機材、C-供与機材、S-スタジオ、E-編集室、L-ローケ準備室、J-事務室、Y-教室、M-保守教室、O-その他

CEITE 供与機材一覧表 (6)

NO	主要機材・器具	型式 (メーカー)	品数	年度	備置	サイト	稼働	価額	設置場所	利用状況	管理状況	備考
	VTRリモート	1、1/2、3/4用	1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,016.0	スタジオ	A	A	
	映像ジャック板	PPV-200型 (ソニー)	6式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,672.8	スタジオ	A	A	
	映像パッチケーブル	PPV-B60, PPV-B30 (ソニー)	40	1991	1992.04	1992.04	1992.08	164.2	スタジオ	A	A	
	音声ジャック板	PPA-401型 (ソニー)	6式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,027.8	スタジオ	A	A	
	音声パッチケーブル	PPA-B60, PPA-B30 (ソニー)	40	1991	1992.04	1992.04	1992.08	134.0	スタジオ	A	A	
	ラック	E1A (電源ユニット付き) (ソニー)	1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	2,833.8	スタジオ	A	A	
	コントロールソール	含む椅子	1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	7,348.8	スタジオ	A	A	
	インカムシステム	MS-200, IP4-4, RS-501 (7) (9) (7)-HA)	1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,684.7	スタジオ	A	A	
	ワイヤレスインカム	スペシャル (クリアーカー)	1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,760.4	スタジオ	A	A	
	ターリオンシステム	スペシャル (ソニー)	1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,904.4	スタジオ	A	A	
	据え付け材料 他		1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	5,273.9	スタジオ	C	A	据え付け済
91-C-S-107	ホームビデオ	SL-HF850D型 (ソニー)	2	1991	1992.04	1992.04	1992.08	213.2	スタジオ	A	A	
91-C-S-108	マスター時計システム	秒時計11式、分時計19式	1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	2,335.4	スタジオ	A	A	
91-C-S-109	グレースケールパターン	GS-3	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	105.6	スタジオ	A	A	
	ワイヤレスパッチケーブル、接続板	300m	1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,144.4	スタジオ	A	A	
	VDR、エレクトロニクス		1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	743.6	スタジオ	A	A	
	モニターセレクト		1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	324.3	スタジオ	A	A	
	オートリセット	BW/BVU用、BETAMAX用	2式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	369.3	スタジオ	A	A	
91-C-S-112	ミキシングコントロール	XP-2926型 (含む椅子) (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	546.7	スタジオ	A	A	
	電源ユニット	AC-P2000A型 (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	182.2	スタジオ	A	A	
	インプットモジュール	MXDX-2901型 (ソニー)	1.2	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,422.0	スタジオ	A	A	
	アウトプットモジュール	MXBX-2904型 (ソニー)	1.0	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,275.0	スタジオ	A	A	
	グループモジュール	MXBX-2902型 (ソニー)	4	1991	1992.04	1992.04	1992.08	666.8	スタジオ	A	A	
	ダイナミックモジュール	MXBK-2903型 (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	292.4	スタジオ	A	A	
	モニターモジュール	MXBK-2906型 (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	118.5	スタジオ	A	A	
	マスターモジュール	MXBK-2908型 (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	127.5	スタジオ	A	A	
	モニターモジュール	MXBK-2917型 (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	109.3	スタジオ	A	A	
	トークバックマイク		1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	138.5	スタジオ	A	A	
91-C-S-113	残留処理装置	DPS-R7型 (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	118.5	スタジオ	B	A	
91-C-S-114	モニターアンプ	TA-N7050型 (ソニー)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	369.0	スタジオ	A	A	

NO: 91-年度、K-構行機材、C-供与機材、S-スタジオ、E-編集室、L-ローケ準備室、J-事務室、Y-教室、M-保守教室、O-その他

CONITE 供与機材一覽表 (7)

N.O	主要機材・器具	型式(メーカー)	品数	供与年度	種類	サイト	稼働	金額(千円)	設置場所	利用状況	管理状況	備考
91-C-S-117	スピーカーシステム	WS-333 (ソニー)	1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	420.9	スタジオ	A	A	
	音源分配器	PFA-100型 (ソニー)	3式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	318.9	スタジオ	A	A	
	音源分配ユニット	SDA-100型 (ソニー)	9式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	492.3	スタジオ	A	A	
91-C-S-118	スピーカー	MU-S771型 (ソニー)	1組	1991	1992.04	1992.04	1992.08	68.2	スタジオ	A	A	
91-C-S-119	テープレコーダー	HR-10J2型 (ソニー)	2	1991	1992.04	1992.04	1992.08	3,402.4	スタジオ	B	A	
91-C-S-121	カセットデッキ	TC-ER97ES型 (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	87.2	スタジオ	B	A	
91-C-S-122	CDプレーヤー	CDP-3000型 (含むCDトランス他) (ソニー)	2	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,239.1	スタジオ	A	A	
	ヘッドフォン	MDR-CD950型 (ソニー)	2	1991	1992.04	1992.04	1992.08	32.8	スタジオ	A	A	
91-C-S-124	マイク	WRJ-28型 (ソニー)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	573.9	スタジオ	B	A	
91-C-S-127	マイク	WRJ-28型 (ソニー)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	482.0	スタジオ	B	A	
	マイク	AN-57型 (ソニー)	2式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,033.2	スタジオ	B	A	
91-C-S-130	マイク	WRJ-37型 (ソニー)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	2,682.0	スタジオ	B	A	
91-C-S-133	コンデンサマイク	KKH-416P型 (ゼンハイザー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	166.7	スタジオ	A	A	
91-C-S-134	コンデンサマイク	CUS-101型 (三研)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	120.0	スタジオ	A	A	
91-C-S-137	コンデンサマイク	CU-31型 (三研)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	95.6	スタジオ	B	A	
91-C-S-138	コンデンサマイク	CU-32型 (三研)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	95.6	スタジオ	B	A	
91-C-S-139	コンデンサマイク	U87-A1型 (ノイマン)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	347.2	スタジオ	B	A	
91-C-S-140	ダイナミックマイク	MO-211型 (三研)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	40.1	スタジオ	A	A	
91-C-S-141	ダイナミックマイク	MD-441U型 (ゼンハイザー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	81.1	スタジオ	B	A	
91-C-S-142	ダイナミックマイク	SM-58-LC型 (ショア)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	144.9	スタジオ	B	A	
91-C-S-145	コンデンサマイク	ECM-77B型 (ソニー)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	174.9	スタジオ	A	A	
	ECM-77B用アダプター	別注	多数	1991	1992.04	1992.04	1992.08	172.2	スタジオ	A	A	
91-C-S-148	マイクスタンド	MF-213型 (高砂)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	156.0	スタジオ	B	A	
91-C-S-151	マイクスタンド	MF-209型 (高砂)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	147.3	スタジオ	B	A	
91-C-S-154	マイクスタンド	MF-18TM型 (高砂)	2	1991	1992.04	1992.04	1992.08	82.0	スタジオ	B	A	
91-C-S-156	マイクスタンド	MC-10型 (高砂)	2	1991	1992.04	1992.04	1992.08	32.8	スタジオ	B	A	
91-C-S-158	マイクスタンド	FS-101型 (高砂)	2	1991	1992.04	1992.04	1992.08	213.2	スタジオ	B	A	
91-C-S-160	マイクスタンド	TS-101HG型 (高砂)	2	1991	1992.04	1992.04	1992.08	71.2	スタジオ	B	A	
91-C-S-162	マイクスタンド	ST-210/2B型 (AKG)	2	1991	1992.04	1992.04	1992.08	27.0	スタジオ	B	A	
91-C-S-164	マイクスタンド	MS/M BA/M型 (K&M)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	47.2	スタジオ	B	A	

NO: 91-年度, K-搬行機材, C-供与機材, S-スタジオ, E-編集室, L-ロゴ準備室, J-事務室, Y-教室, M-保守教室, O-その他

CONFITE 供与機材一覧表 (8)

NO	主要機材・器具	型式(メーカー)	品数	供与年度	発着月	引取月	積算月	費用(千円)	設置場所	利用状況	管理状況	備考
	音源カプセル(8CH=4f, 3f, 2f)	8C30-03/8J2N型(カナレ)	1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	393.7	スタジオ	B	A	
	音源カプセル(100m)	2T-2 100M(ソニー)	3巻	1991	1992.04	1992.04	1992.08	136.8	スタジオ	B	A	
	整合器(パレ-ド-システム)		8	1991	1992.04	1992.04	1992.08	728.0	スタジオ	B	A	
	整合器(L+R回路)	MU-X051型	1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	58.2	スタジオ	B	A	
	延音装置(10m)	EC-10XLR2/8型(ソニー)	20	1991	1992.04	1992.04	1992.08	118.4	スタジオ	A	A	
	音源プラグ(3ピン)	XLR-3-11C, XLR-3-12C型(キヤノン)	100	1991	1992.04	1992.04	1992.08	41.0	スタジオ	B	A	
	音源プラグ(4ピン, 3ピン)	XLR-4-11C, 12C, XLR5-11C, 12C(キヤノン)	40	1991	1992.04	1992.04	1992.08	23.0	スタジオ	B	A	
91-C-S-165	円盤再生器	DN-308F-E型(デンオン)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	982.3	スタジオ	B	A	
	カートリッジ(含む針)	DL-107型(デンオン)	2	1991	1992.04	1992.04	1992.08	70.3	スタジオ	B	A	
91-C-S-166	カウボックス	スペシャル	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	491.0	スタジオ	B	A	
91-C-S-167	マイクプームドロー	TBL-320G型(高砂)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	3,575.3	スタジオ	A	A	
	振え付け材料		1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,100.3	スタジオ	C	A	
91-C-E-168	1/2インチVTR(含むTRCカート)	BW-75型, BW-50型(ソニー)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	18,082.8	ボスプロB	A	A	
	デスク(サト, 時, ティンク)	SU-810型, SU-830型(含むYK=)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	463.6	ボスプロB	A	A	
	モニターテーブル	SU-820型(ソニー)	2	1991	1992.04	1992.04	1992.08	165.7	ボスプロB	A	A	
91-C-E-169	編集ソフト(SW, MIX, EDT)	BVE-910型(ソニー)	1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	6,687.9	ボスプロB	A	A	
91-C-E-170	カメラ(含むカプセル)	PVM-1341型(ソニー)	5	1991	1992.04	1992.04	1992.08	892.1	ボスプロB	A	A	
91-C-E-171	デジタル映像処理装置	DPM-100型(グラスバレー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	5,836.4	ボスプロB	A	A	
	記録用ケーブル		1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	2,582.6	ボスプロB	A	A	
	波形モニター	1730 OP 90型(Y=カト)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	357.2	ボスプロB	A	A	
	ベクトルスコープ	1720 OP 90型(Y=カト)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	357.2	ボスプロB	A	A	
	ビデオスイッチャー他		1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	283.5	ボスプロB	A	A	
91-C-E-172	モニターアンプ	TA-N7050型(ソニー)	2	1991	1992.04	1992.04	1992.08	247.8	ボスプロB	A	A	
91-C-E-173	スピーカー	MU-S771型(ソニー)	4	1991	1992.04	1992.04	1992.08	288.6	ボスプロB	A	A	
91-C-E-174	カラーモニター	PVM-2030型(ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	181.3	ボスプロB	A	A	
91-C-H-175	制御ソフト(含む7ロー他)	MODEL1100(OP-100X, LIC-2465)(Y=)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	379.5	保守教室	A	A	
91-C-H-176	デジタルマルチメーター	MODEL 856型(リーダー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	84.6	保守教室	A	A	
91-C-H-177	DC電線供給器	LPS-163A型(リーダー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	47.5	保守教室	A	A	
91-C-H-178	周波数カウンタ	LDC-824型(リーダー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	127.6	保守教室	B	A	
91-C-H-179	パターン発生器	401YC型(リーダー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	145.8	保守教室	B	A	

NO: 91-年度, K-飛行機材, C-供与機材, S-スタジオ, E-編集室, L-ローケ準備室, J-事務室, Y-教室, M-保守教室, O-その他

CEITE 供与機材一覧表 (9)

NO	主製機材・器具	型式 (メーカー)	品数	建設年度	施設年度	サイト 型・育	積算 月	金額 (千円)	設置場所	利用状況	管理状況	備考
91-C-N-180	CRT加2(含む7-1)746A)	M-085D型 (ポラロイド)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	265.6	保守教室	B	A	
91-C-N-181	TV録音発生器	TG-7A, JL-70A1, U703C, U-704A)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,760.3	保守教室	A	A	
91-C-N-182	ビデオスイープ発生器	VS-10B1型 (シバソク)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	469.3	保守教室	B	A	
91-C-N-183	低周波特性測定器	AM-50B型 (シバソク)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,173.6	保守教室	B	A	
91-C-N-184	カラーモニター	BKM-1400型 (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	721.0	保守教室	A	A	
91-C-N-185	波形モニター	1730 OP 90型 (V=746D)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	341.7	保守教室	A	A	
91-C-N-186	ベクトルスコープ	1720 OP 90型 (V=746D)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	341.7	保守教室	A	A	
91-C-N-187	ラック	EIA	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	466.9	保守教室	A	A	
91-C-N-188	消磁器	7-700-781-01型 (ソニー)	2	1991	1992.04	1992.04	1992.08	8.1	保守教室	B	A	
91-C-N-189	自バランス調整器	CW80C型 (シバソク)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	557.6	保守教室	A	A	
91-C-N-191	テスター	T-50BZ型 (サンワ)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	15.6	保守教室	A	A	
	ケプM(777)マシテオ)	UGC-2, RK-C74 (ソニー)	4	1991	1992.04	1992.04	1992.08	68.0	保守教室	A	A	
	部品セット	CR-KIT, TDKT-2 (ソニー)	3	1991	1992.04	1992.04	1992.08	111.8	保守教室	A	A	
	VTRツールセット	J-6252-330-A (V=)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	175.8	保守教室	A	A	
	工具セット	S-10型 (ホーザン)	7	1991	1992.04	1992.04	1992.08	79.1	保守教室	A	A	
	半田セット		5	1991	1992.04	1992.04	1992.08	510.5	保守教室	A	A	
91-C-N-194	携帯型試験発生器	TOS-1.1型 (花岡)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	72.9	保守教室	B	A	
91-C-N-195	コバネットTV倍音発生器	TSG-300型 (V=746D)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,366.7	保守教室	B	A	
91-C-N-196	コバネット波形モニター	WPM-300A 0P80型 (V=746D)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	851.1	保守教室	B	A	
91-C-N-197	音声スコープ	LBO-552C型 (V=746D)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	74.8	保守教室	B	A	
91-C-N-198	同期倍音発生器(含むCR)	1410R, TSG-7型 (V=746D)	1式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	1,087.1	保守教室	A	A	
91-C-0-199	カラーTV	KV-2127R型 (ソニー)	16	1991	1992.04	1992.04	1992.08	2,464.0	教室その他	A	A	
91-C-0-215	ホームビデオ	SL-HF850D型 (ソニー)	6	1991	1992.04	1992.04	1992.08	590.4	教室その他	A	A	
91-C-0-221	モニタースタンド	M-120W (オローラ)	6	1991	1992.04	1992.04	1992.08	254.4	教室その他	A	A	
91-C-0-227	光-8-7474(含む746D)	SS-A5 (ソニー)	2	1991	1992.04	1992.04	1992.08	147.2	教室その他	A	A	
91-C-0-228	アンプ	TA-P222ESA型 (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	57.1	教室その他	A	A	
91-C-0-228	音声ミキサー	EFP-402LP型 (シグマ)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	888.2	教室その他	B	A	
91-C-0-230	ダイナミックマイク	F-VX30型 (ソニー)	1	1991	1992.04	1992.04	1992.08	3.5	教室その他	B	A	
	ケーブルリール	R-380S型 (ソニー)	5	1991	1992.04	1992.04	1992.08	179.0	教室その他	B	A	
	コネクター	BNC-117P, BNC-A-J1 (ソニー)	7式	1991	1992.04	1992.04	1992.08	96.3	保守教室	A	A	

NO: 91-1年度, K-旅行機材, C-供与機材, S-スタジオ, E-編集室, L-ローグ整備室, J-事務室, Y-教室, M-保守教室, O-その他

CEI E 専門家携行機材一覽表 (1.)

NO	主要機材・器具	型式 (メーカー)	品数	年度	発動 装置・月	サイ ト・月	種 類	設置場所	利用状況	管理状況	備考
90-K-J-001	パソコン	PC-9801NV (NEC)	1	1990	1991.01	1991.01	225.5	専門家事務室	A	A	
90-K-J-002	プリンター	PC-PR201GS (NEC)	1	1990	1991.01	1991.01	115.0	"	A	A	
91-K-J-003	ワープロ	OASYS-30SX2 (富士通)	1	1991	1991.10	1991.11	188.3	"	A	A	
91-K-J-004	VHSビデオカセット	SLV-585HF (SONY)	1	1991	1991.10	1991.11	52.0	"	A	A	
91-K-J-005	8mmビデオカメラ	CCD-V700 (SONY)	1	1991	1991.10	1992.01	190.4	"	B	A	
91-K-J-006	8mm用マリンバック	MPK-VX1 (SONY)	1	1991	1991.10	1992.01	156.0	"	C	A	修理済
91-K-J-007	8mmビデオデッキ	EV-S550 (SONY)	1	1991	1991.10	1991.11	88.0	"	B	A	
91-K-J-008	トランス	KNA-250 (豊産電機機器KK)	1	1991	1991.10	1991.11	6.0	"	A	A	
91-K-J-009	トランス	KN-10 (豊産電機機器KK)	1	1991	1991.10	1991.11	11.0	"	A	A	
91-K-J-010	カラーテレビ	KV-2153MT (SONY)	1	1991	1991.10	1991.11	88.0	"	A	A	
91-K-J-011	βMAXビデオカセット	SL-HF780D (SONY)	1	1991	1991.10	1991.11	92.0	"	A	A	
91-K-J-012	トランス	KN-10 (豊産電機機器KK)	2	1991	1991.10	1991.11	22.0	"	A	A	
91-K-J-014	ワープロ	FW-U1P607 (パナソニック)	1	1991	1991.10	1991.11	204.8	"	A	A	
91-K-J-015	パソコン	J-3100SX-001 (英芝)	1	1991	1991.11	1991.12	288.2	"	A	A	
91-K-J-016	トランス	KN-10 (豊産電機機器KK)	1	1991	1991.11	1991.12	11.0	"	A	A	
91-K-J-017	8mmビデオカメラ	CCD-V700 (SONY)	1	1991	1991.11	1991.12	218.0	"	B	A	
91-K-J-018	8mm用マリンバック	MPK-VX1 (SONY)	1	1991	1991.11	1991.12	156.0	"	C	A	修理済
91-K-J-019	カラーテレビ	KV-2153MT (SONY)	1	1991	1991.11	1991.12	88.0	"	A	A	
91-K-J-020	βMAXビデオカセット	SL-HF780D (SONY)	1	1991	1991.11	1991.12	92.0	"	A	A	
91-K-J-021	8mmビデオデッキ	EV-S550 (SONY)	1	1991	1991.11	1991.12	88.0	"	B	A	
91-K-J-022	スライドプロジェクター	301Pro-AF (エルモ社)	1	1991	1991.11	1991.12	198.4	"	B	A	
91-K-J-023	ワープロ	α-370 (CANON)	1	1991	1991.12	1992.01	290.1	"	A	A	
91-K-J-024	パソコン	J-3100SX-001 (英芝)	1	1991	1991.12	1992.01	517.3	"	"	A	
91-K-J-025	定電圧電源装置	SVC-1010-A (松永制作)	2	1991	1991.12	1992.01	196.0	"	"	A	
91-K-J-027	カメラ	No-612N (ライオン事務器)	1	1991	1991.12	1992.01	14.5	"	"	A	
91-K-J-028	ホワイトボード	BB-H243-W1 (コクヨ)	1	1991	1991.12	1992.01	27.0	"	"	A	
92-K-J-029	大型ホットキス	HD-12S/24 (MAX)	1	1992	1992.05	1992.05	20.0	"	"	A	
92-K-J-030	大型六開付器	CARL NO. 90 (カサ事務)	1	1992	1992.05	1992.05	9.3	"	"	A	
92-K-S-031	照度計	MODEL 246 (トニョウKK)	3	1992	1992.05	1992.05	35.7	TVスタジオ	B	A	
92-K-L-034	バッテリーライイト	LB-5II (RDS)	3	1992	1992.05	1992.05		ビデオ機材室	B	A	

NO: 91-年度、K-携行機材、G-現地購入機材、C-供与機材、S-スタジオ、E-編集室、L-倉庫、J-事務室、Y-教室、O-その他

C E T E 専門家携行機材一覧表 (2)

N.O	主要機材・器具	型式 (メーカー)	品数	供与年度	発着月	サイクリング月	稼働月	金額 (千円)	設置場所	利用状況	管理状況	備考
92-K-L-037	充電器 (VTR用)	TCR-24 (RDS)	3	1992	1992.05	1992.05	1992.05	630.0	ロケ機材室	B	A	
92-K-J-040	3.5インチディスクフォーマッタ	PC-FD312 (NEC)	1	1992	1992.05	1992.05	1992.05	77.4	専門家事務室	A	A	
	据付工事用工具、銅器具		1式	1992	1992.06	1992.06	1992.06	885.2	保守教室、他	C	A	機材室に保管
			1式	1992	1992.07	1992.07	1992.07	2,352.5	"	C	A	"
	ビデオテープ		19	1992	1992.07	1992.07	1992.07	499.4	専門家事務室	A	A	
	本		15	1992	1992.07	1992.07	1992.07	87.5	"	A	A	
	鋼光用ユニット	JA-S0-120, JA-25-120 (RDS)	2	1992	1992.07	1992.06	1992.08	243.0	スタジオ	A	A	
	本		4	1992	1992.10	1992.10	1992.10	33.9	専門家事務室	A	A	
92-K-J-041	電源トランス	KN-10 (トヨデン)	3	1992	1992.10	1992.10	1992.10	11.0	"	B	A	
92-K-S-044	デジタル照度計	T-1 (ミノルタ)	1	1992	1992.10	1992.10	1992.10	98.0	スタジオ	B	A	
92-K-L-045	マイク電源	MA-14P 48V (SENNHEISER)	3	1992	1992.10	1992.10	1992.10	96.0	ロケ機材室	B	A	
	本		6	1992	1992.10	1992.10	1992.10	16.3	専門家事務室	A	A	
92-K-L-048	デジタル録音器	TCD-D10 (ソニー)	1	1993	1993.01	1993.01	1993.01	198.0	ロケ機材室	B	A	
92-K-J-049	エフェクター	DPS-F7 (ソニー)	1	1993	1993.01	1993.01	1993.01	135.0	スタジオ	B	A	

CEITE 現地開選機材一覧表 (II)

NO	主要機材・器具	型式 (メーカー)	品数	年度	発着月	金額 (ペソ)	設置場所	利用状況	管理状況	備考
91-G-J-001	ファックス	FAX-750 (CANON)	1	1991	1992.01	1,822USドル	専門家事務室	A	A	
91-G-J-015	AV分配器	DA-500 (ソニー)	1	1991	1992.05	3,162.428	"	B	A	
92-G-S-017	モニター	PVM-1341 (ソニー)	1	1992	1992.06	3,396.050	スタジオ	A	A	
92-G-E-018	モニター	PVM-1341 (ソニー)	1	1992	1992.06	3,396.050	ボスプロB	"	A	
91-G-E-019	モニター	PVM-1341 (ソニー)	1	1992	1992.07	3,396.050	ボスプロB	"	A	
	ビデオインターフェース	PVF-200 (ソニー)	1	1993	1993.02	2,520USドル	スタジオ	"	A	
	ビデオ分配器	VDA-200 (ソニー)	2	1993	1993.02	1,020USドル	"	"	A	
	ハルス分配アンブ	PDA-200 (ソニー)	2	1993	1993.02	1,224USドル	"	"	A	
	音声インターフェース	PFA-200 (ソニー)	1	1993	1993.02	2,880USドル	"	"	A	
	教材用コンピュータ	V1W-5000A (ソニー)	1式	1993	1993.03	11,983.40	専門家事務室	B	A	
	スタジオ用セット家具		1式	1993	1993.03	4,425.00	スタジオ	B	A	

NO:91-年度、K-携行機材、G-現地調達機材、C-供与機材、S-スタジオ、E-編集室、L-倉庫、J-事務室、Y-教室、O-その他

(1) 一 5. 訓練コース実施状況
 ④ 評価システムが確立していないので、「訓練コースの充実度」については各担当インストラクターが採点、「受講生の習得度」については教務部門が受講生に行ったアンケートによって、

No. 1

年 度	コース名	専門家名	インストラクター	実 施 時 期		受講者数	訓練コースの 充 実 度	受講生の 習 得 度	備 考
				計 画	実 績				
92	カメラ技術	飯田 武	ARTURO SANTAMARIA ALDANA	92. 9. 7~92. 9. 14	6 (UTE6)	B			
1	カメラ技術 (クォン)	飯田 武	ARTURO SANTAMARIA ALDANA	92. 10. 19~ 2週	4 (UTE4)	B			
2	照明技術	飯田 武	ARTURO SANTAMARIA ALDANA	93. 2. 15~ 2週	11 (UTE2)	B		B (69%)	
3	映像と VTR 技術	横井康和	CARLOS GARCIA QUIROZ	92. 10. 19~ 6週	8 (UTE8)	B		B (67%)	
4	音声技術 (クォン)	飯田 武	LUIS MANUEL HERNANDEZ G.	93. 3. 22~93. 4. 2	11 (UTE6, CETE1)	A		A (89.3%)	
5	編集とポロクォン	飯田 武	MARCO A. GARCIA HOLM	92. 11. 9~ 3週	7 (UTE7)	B			
6	保守整備技術	横井康和	ERNESTO ORTEGA GARCIA	93. 1. 11~ 4週	15 (UTE8, CETE2)	A		B (73%)	
7	番組制作 (基礎) (クォン)	船山真一	CARLOS GARCIA QUIROZ	92. 10. 19~ 3週	4 (UTE4)	B		B (67%)	
7	番組制作 (基礎)	船山真一	NEPTALI PENAFLOL VALDEZ	93. 1. 18~93. 2. 4	11 (UTE6)	A		B (75%)	
8	番組制作 (上級)	船山真一	LUIS MIGUEL RIVERO LOPEZ	93. 2. 8~93. 2. 19	10 (UTE7)	B		B (74%)	
9	特別研修 放送に関する調査研究	飯森彬彦	MARIA DEL CARMEN CAMACHO	92. 7. 21~92. 8. 21	13 (UTE6)	A			
	クォン美術	星野 昭	ROGELIO GARCIA GARCIA	92. 11. 5~92. 12. 9	12 (UTE12)	A			
	クォン美術 (地方)	星野 昭	7777局	92. 11. 23~92. 11. 25	13	A			
	保守整備技術	加藤好将	CARLOS GARCIA QUIROZ	93. 1. 25~93. 2. 19	16 (UTE8, CETE2)	A		B (73%)	
	保守整備技術 (地方)	加藤好将	7777局	93. 2. 22~93. 2. 24	16	A		B (75%)	
	音声技術	山田憲義	MARCO A. GARCIA HOLM	93. 2. 8~93. 2. 26	15 (UTE5, CETE2)	A		B (84%)	
	音声技術 (地方)	山田憲義	7777局	93. 3. 3~93. 3. 5	11	A		A (97%)	
10	番組制作実習	船山真一	LUIS MIGUEL RIVERO LOPEZ	93. 3. 15~93. 4. 2	12 (UTE8)	A		B (64.1%)	
*	水中カメラ撮影技術	船山真一	横井康和、飯田 武	93. 3. 15~93. 3. 18	C/P2	B			

* カウンタートへの特別地方研修

年 度	コース名	専門家名	インストラクター	実施時期		受講者数	訓練-70 充実度	受講生の 習得度	備 考
				計 画	実 績				
93	カメラ技術	飯田 武	ARTURO SANTAMARIA ALDANA	93. 4.26~93. 5.10	93. 4.26~93. 5.10	12 (UTE3, CETE2)	B	A (80.9%)	
1	カメラ技術	飯田 武	ARTURO SANTAMARIA ALDANA	93. 9.20~93.10. 1					
2	照明技術	飯田 武	ARTURO SANTAMARIA ALDANA	93. 8. 9~93. 8.13					
2	照明技術	飯田 武	ARTURO SANTAMARIA ALDANA	93. 8.23~93. 8.27					
3	映像とVTR技術	横井康和	CARLOS GARCIA QUIROZ LUIS MANUEL HERNANDEZ G.	93. 4.26~93. 5.21	93. 4.26~93. 5.21	11 (UTE3, CETE3)	A		
3	映像とVTR技術	横井康和	CARLOS GARCIA QUIROZ	93. 9.20~93.10.15					
4	音声技術	飯田 武	MARCO A. GARCIA HOLM	93. 7.26~93. 8. 6					
5	編集とプロダクション	飯田 武	MARCO A. GARCIA HOLM	93. 5.17~93. 6. 4	93. 5.17~93. 6. 4	18 (UTE9, CETE1)	A		
6	保守整備技術 (前半)	横井康和	CARLOS GARCIA QUIROZ	93. 8. 9~93. 8.20					
6	保守整備技術 (後半)	横井康和	HECTOR CELAYA LOERA	93.10.18~93.10.29					
7	番組制作 (基礎)	船山真一	NESTOR A. RODRIGUEZ G.	93. 4.26~92. 5.14	93. 4.26~92. 5.14	12 (UTE7)	B	A (84.6%)	
7	番組制作 (基礎)	船山真一	NESTOR A. RODRIGUEZ G.	93. 9. 6~93. 9.26					
8	番組制作 (上級)	船山真一	NEFTALI PENAFLOL VALDEZ	93. 5.17~92. 6. 4	93. 5.17~92. 6. 4	18 (UTE11, CETE7)	A	B (79.4%)	
9	特別研修								
	人形劇 (地方)	船山真一	NESTOR A. RODRIGUEZ G.	93. 7.26~93. 8.20					
	人形劇 (地方)	船山真一	モリ7局	93. 8.23~93. 8.25					
	プロダクション	飯田 武	MARCO A. GARCIA HOLM	93. 9.13~93.10. 1					
	プロダクション (地方)	飯田 武	モリ7局 (未確定)	93.10. 4~93.10. 8					
10	カメラ技術	飯田 武	ARTURO SANTAMARIA ALDANA	93.10.25~93.11.					
**	番組制作実習	船山真一	LUIS MIGUEL RIVERO LOPEZ	93. 8.23~93. 8.27					
**	保守整備技術	横井康和	CARLOS GARCIA QUIROZ	93. 6.16~93. 6.18	93. 6.16~93. 6.18		A		
**	カメラ技術	飯田 武	ARTURO SANTAMARIA ALDANA	93. 6.21~93. 6.25	93. 6.21~93. 6.25		A		

** : CETEオペレーターへの研修

CETE独自の研修コース

No. 3

年度	コース名	インストラクター	実施時期		受講者数	備考
			計画	実績		
92	テレビ技法(ビデオの時代)	文部省イデイク教育部門対象	93. 1.25~93. 2. 5	93. 1.25~93. 2. 5	16	
	台本制作	JOSE LUIS HERNANDEZ	93. 3.15~93. 3.26	93. 3.15~93. 3.26	64	
93	番組制作(基礎)特別	NEFTARI PENAFROL VARDEZ	93. 4.26~93. 5.14	93. 4.26~93. 5.14		
	ミナ:管理職のための 教育テレビ導入	文部省対象	93. 4.28~93. 4.30	93. 4.28~93. 4.30		
	テレビ中学校のための 番組制作	JOSE MANUEL CASTILLANO MARCO ANTONIO MAGANA	93. 5.17~93. 5.21	93. 5.17~93. 5.21	70	
	ラジオ・テレビ用アナ ウンスワークションアップ	JOSE LUIS HERNANDEZ BELTA GOMEZ MACUEO	93. 4.26~93. 5.21	93. 4.26~93. 5.21	25(UTE3)	
	テレビ言語の構造分析	IGNACIO S. BILLEGAS	93. 6.14~93. 6.18	93. 6.14~93. 6.18	10(CETE10)	
	テレビ言語の構造分析	LUIS MIGUEL RIVERO LOPEZ	93. 6.21~93. 6.25	93. 6.21~93. 6.25	15(UTE15)	
	テレビ言語の構造分析	LUIS MIGUEL RIVERO LOPEZ	93. 6.28~93. 7. 2	93. 6.28~93. 7. 2	10(UTE10)	
	台本制作	LUIS MIGUEL RIVERO LOPEZ	93. 7.19~93. 7.30	93. 7.19~93. 7.30		

(1) - h. 訓練コース実施の問題点

(i) 本邦支援要望事項

1. 短期専門家派遣時期、C/P研修実施時期の早期通報

→ (1) - b - (i) - 2., 3. 参照

(ii) 先方機関への改善要求事項

1. カウンターパート、及びアシスタントカウンターパート数の不足

→ (1) - b - (iii) - 6. 及び (2) - a - (i) 参照

2. オペレーター数の不足

→ (1) - b - (iii) - 7. 及び (2) - a - (ii) 参照

(1) - i 合同委員会・作業委員会開催状況

<i> 合同委員会 (コミテ・エヘクティーボ)

公式の合同委員会は、調査団来墨時に開催することにしており、これまでには92年9月に調査団を迎えて開催した。その他に、非公式なものとしては、メキシコ側の最高責任者である文部省官房長の交代などにつれて、顔合わせをかねて官房長との話し合いの機会を持つことがあり、92年6月と93年3月に公式の合同委員会に準じた会議を開催した。いずれにも、JICA事務所長と事務所のプロジェクト担当者が出席している。

公式の合同委員会でのメキシコ側の発言は、メキシコ政府の公式の約束としての重みがあり、その後のプロジェクト運営の基礎にもなっている。

しかし、非公式の会の方は、あまり事情のよく分かっていない官房長へのプロジェクトの状況説明が主体で、そこで何らかの結論が出されると言ったものではないのが通例である。

<ii> UTE局長との定例会議

92年10月に、専門家グループと当時のCETE所長グアダルベ・バルデス女史との間にさまざまなトラブルが生じた機会に新設され、原則として2か月に1回、偶数月の第1火曜の正午から実施することが決められた。これまでに、計5回開催されている。プロジェクトのメキシコ側の体制のなかでは、あらゆる権限がUTEの局長に集中しており、UTEの局長に掛け合わなければ何も前進しない状態なので、この会議の意義は大きいものがある。この会議でUTEの局長が約束したことが、次の会議までに実現していないこともあるが、次の会議で実現の遅れについて追求すると、大抵のことは短期間に解決されるようである。7月21日には、今回の調査団を迎える準備のため、臨時の会議が予定されている。

<iii> 作業委員会 (レウニオン・デ・トラバホ)

91年11月から、ほぼ2週に1回の割合で開かれている。当初はCETEのスタッフも少なく、全員が出席していたが、最近では所長・副所長と顧問、C/P、それに総務・会計役、各セクションのチーフなどに限定されるようになった。それでも、専門家グループもくわえると20人ほどの大会議である。定例は1週おきの木曜日の午後12時30分から行われている。

最初の頃は、メキシコ側の責任ある立場の者が出席していないこともあって、全てが言いっぱなしに終わり、糠に釘の様相を呈していたが、グアダルベ・ガルバン所長による新体制が確立されたこの頃では、あらかじめ日本側からの当日の議題を提起しておく、前日にメキシコ側内部の会議を開き、回答を用意して作業委員会に臨むようになって来ている。その結果、会議もスムーズに進むようになり、それなりの問題解決の方向が示されるようになって来た。しかし、CETE予算の未決定なことか外部機関の緩慢な作業進行などのため、次の会議までに話し合いの内容が実行されず、数度にわたって同じ議題が話し合われるケースが多い。

(2) -a カウンターパートを含むインストラクター及びオペレーターの確保状況

<i> カウンターパートの確保状況と問題点

「番組制作分野」カウンターパート

ネフタリ・ペニャフロール(Lic. Neftari E. Penaflores) 91. 9. 1配属

ルイス・ミゲル・リベロ(Lic. Luis Miguel Rivero) 92. 10. 16配属

アシスタント・カウンターパート

ネストール・ロドリゲス(Prof. Nestor Antonio Rodriguez) 91. 5. 1配属

「制作技術分野」カウンターパート

アルトゥーロ・サンタマリア(Ing. Arturo Santamaria) 91. 9. 1配属

マルコ・アントニオ・ガルシア(Ing. Marco A. Garcia) 92. 10. 16配属

アシスタント・カウンターパート

ハイメ・モラレス(Ing. Jaime Morales) 93. 6. 16配属

「制作技術(施設)分野」カウンターパート

カルロス・ガルシア(Ing. Carlos Garcia) 91. 10. 1配属

エクトール・セラヤ(Ing. Hector M. Celaya) 93. 6. 16配属

92年10月に、バルデス所長の新体制発足にあたって、これまでC/Pとして技術移転の対象としてきた6人のうち、ネストール・ロドリゲスとエルネスト・オルテガの2名が公式任命から外され、さらにもう1人ルイス・マヌエル・エルナンデスも民放局テレビサとの兼務を暫定的に認めて欲しいとの要請をしたのがバルデス所長の怒りに触れて、退職を余儀なくされるというトラブルがあった。

その後、UTEのサバウ局長との折衝の結果、ネストール・ロドリゲスはアシスタント・カウンターパートとしてCETEに残ることになり、ルイス・マヌエル・エルナンデスも復職が認められた。エルネスト・オルテガは、その後短期専門家来墨時の臨時カウンターパートなどを勤めていたが、CETEへの復帰は認められず、今春UTEも退職し11チャンネルに移ってしまった。

ルイス・マヌエル・エルナンデスは、復職後日本での研修も受けたが、帰国したあともテレビサとの兼務を解消できず問題を残していた。われわれ専門家グループとしては、CETEでの業務に支障を来さなければ兼業を認める積もりでいたが、他のC/Pからの反発が激しく、本人にCETEを取るかテレビサを選ぶか二者択一を迫るはめになり、本人がテレビサを選んだ結果、せっかく日本で研修させたC/Pを1人失うことになってしまった。

しかし、その他の面では、4コースを持つ「制作技術分野」にアシスタント・カウンターパートの配属を要求していたのが数度の折衝の末に認められたこと、また離職者の後任も直ぐに補充されたことなどから、現在のC/Pが6人、アシスタントC/Pが2人の体制で当座のコース維持は可能と思われる。

残された課題としては、今後さらに離職者・転職者が出た場合にそなえて、C/P予備軍を養成する必要があるものと思われ、その為にもアシスタントC/Pまたはそ

れに準ずるスタッフの増員を働きかける必要がある。

また、前記のルイス・マヌエル・エルナンデスの離職に見られように、CETEのC/Pの給与はテレビサの給与と比べて、それほど魅力のあるものでないと言う点も何らかの改善の方策をこうじるべきであろう。

<ii> オペレーターの確保状況と問題点

「メンテナンス担当」

ヘラルド・ガルシア(Ing. Gerardo Garcia) 92. 10. 26 配属

「VTR編集技術担当」

アラセリ・アビラ(Araceli Avila) 92. 10. 26 配属

「カメラマン」

ホルヘ・エストラダ(Jorge Juan Estrada) 92. 10. 15 配属

ホセ・ルイス・バレラ(Jose Luis Barrera) 92. 10. 15 配属

ロベルト・ハイメ・ルイス(Roberto Jaime Ruiz) 93. 6. 1 配属

「スイッチャー」

アルマンド・ムンギア(Armando Munguia) 92. 10. 15 配属

「ビデオ・エンジニア」

サルバドール・デ・ラ・セルナ(Salvador de la Serna) 92. 10. 15 配属

「音声技術担当」

ホセ・イサイアス・バレラ(Jose Isaias Barrera) 92. 10. 15 配属

助手ルイス・アルベルト・キントス(Luis Alberto Quintos) 92. 10. 15 配属

「照明技術担当」

オスカル・エレラ(Oscar Herrera) 93. 3. 1 配属

「VTRテープ担当」

ロドルフォ・アヤラ(Rodolfo Ayala) 93. 3. 1 配属

ロヘリオ・グティエレス(Rogelio Gutierrez) 93. 6. 1 配属

純粹の意味でのオペレーターとしては、ヘラルド・ガルシアを除く11人が該当しテレビスタジオ運用のための要員1クルーは確保されている。しかし、勤務時間が9時から16時に定められた1クルーのみでは、研修時間の設定にフレキシビリティを欠くことにもなるので、勤務時間帯をかえた2クルーを確保するよう要望したい。

また、ヘラルド・ガルシアとアラセリ・アビラの2人を除く他のオペレーターの給与は1000ペソ(およそ330ドル)と言う低額で、他の局からの誘いがあれば、直ぐにでも転職してしまう恐れがある。現に、6月にはあまり優秀とも思われなかったカメラマンが1名、民放局に引き抜かれてしまったこともあり、至急給与の改善をはかる必要がある。

(2) - b. 予算要求、予算執行体制の現状

<i> 93年度のCETEの予算要求（以下の数字は公表されていないもので、専門家グループが非公式に入手したものである。）

予算コード	項目	予算額 1ペソ=40円
1000	人件費	568.9ペソ
2000	物件費	750.0ペソ
3000	備人費・広報費	2226.5ペソ
4000	費目間流用費	12.0ペソ
5000	動産・不動産購入費、資機材購入費	76.4ペソ
計		3633.8ペソ

<ii> 93年度のCETEへの承認予算（公表されている額）

予算コード	項目	予算額 1ペソ=40円
1000	人件費	694.2ペソ
2000	物件費	0.0ペソ
3000	備人費・広報費	469.4ペソ
4000	費目間流用費	0.0ペソ
5000	動産・不動産購入費、資機材購入費	0.0ペソ
計		1163.6ペソ

<iii> 予算執行体制の現状と問題点

要求予算と比べて承認予算は、極端に減額されていて、とても研修センターの運営ができる状態ではない。現状では、親局UTEから出向の形での実質的な人件費補助をあおいでおる他、物品購入でもコピー用紙から鉛筆にいたるまで、すべてのものをUTEの予算で調達している。これについては、UTE、CETEの首脳部も危機感を持っており、調査団来墨時の会議の中で、文部省の官房長から追加予算の呈示があるものと期待しているようである。

(2) - c 当センターに従事するスタッフの処遇を含む人事管理体制

(給与月額はペソで表示、1ペソ=約40円)

<所長室>

所長 マリア・グアダルーペ・ガルバン(Lic. Maria Guadalupe Galvan) 8,824ペソ

所長特設秘書 ダビッド・カステジャーノス(Prof. David Castellanos)文部省より出向
4,000ペソ

所長秘書 イルマ・カランサ(Irma Carranza) 1,000ペソ

エルビア・ベルッティ(Elvia Vertti)UTEより出向 1,500ペソ

<顧問室>

特別顧問 リリアナ・バルサレッティ(Lic. Liliana Balzaretti) UTEと兼務

4,500ペソ

<カウンターパート室>

カウンターパート アルトゥーロ・サンタマリア(Ing. Arturo Santamaria) 6,667ペソ

カルロス・ガルシア(Ing. Carlos G. Garcia) 6,667ペソ

ネフタリ・ペニャフロール(Lic. Neftari Penaflores) 6,667ペソ

ルイス・ミゲル・リベロ(Lic. Luis Miguel Rivero) 6,667ペソ

マルコ・アントニオ・ガルシア(Ing. Marco Antonio Garcia)

6,667ペソ

エクトール・セラヤ(Ing. Hector Celaya) 6,667ペソ

アシスタント・カウンターパート

ネストール・ロドリゲス(Prof. Nestor A. Rodriguez) 4,444ペソ

ハイメ・モラレス(Ing. Jaime Morales) UTE予算にて給与支払い

3,000ペソ

<技術担当副所長室>

副所長 ホセ・ルイス・マルティネス(Ing. Jose Luis Martinez) 5,419ペソ

副所長秘書 ソコロ・アギラル(Socorro Aguilar) 800ペソ

(リソース管理部)

リソース管理チーフ アルマ・ガブリエラ・ネリ(Lic. Alma Gabriela Nery) 3,670ペソ

(技術管理部)

技術管理チーフ ヘラルド・ガルシア(Ing. Gerardo Garcia) 3,670ペソ

編集担当 アラセリ・アビラ(Araceli Avila) UTE予算にて給与支払い 2,000ペソ

カメラマン フアン・エストラダ(Juan Estrada) 1,000ペソ

ホセ・ルイス・バレラ(Jose Luis Barrera) 1,000ペソ

ロベルト・ハイメ・ルイス(Roberto Jaime Ruiz) 1,000ペソ

スイッチャー アルマンド・ムンギア(Armando Munguia) 1,000ペソ

ビデオエンジニア サルバドル・デ・ラ・セルナ(Salvador de la Serna) 1,000ペソ

音声担当 ホセ・イサイアス・バレラ(Jose Isaias Barrera)1,000ペソ
音声助手 ルイス・アルベルト・キントス(Luis Alberto Quintos) 1,000ペソ
照明担当 オスカル・エレラ(Oscar Herrera)1,000ペソ
VTRテープ担当 ロドルフォ・アヤラ(Rodolfo Ayala)1,000ペソ
ロヘリオ・グティエレス(Rogelio Gutierrez)1,000ペソ

〈教務担当副所長室〉

副所長 ラウラ・プリアンティ(Lic. Laura E. Prianti)5,419ペソ
副所長秘書 レベッカ・コントララス(Rebeca Contreras) 800ペソ
ラウラ・トルレス(Laura A. Torres)800ペソ

(教育課程計画部)

教育課程計画チーフ ソチケッツアリ・メンドーサ(Lic. Xochiquetzalli Mendoza)
3,670ペソ

(教育調査・評価部)

教育調査・評価チーフ アナ・マリア・カスティージョ(Ana Maria Castillo)
3,670ペソ

(教材制作計画・実施部)

教材制作チーフ イスマエル・ロドリゲス(Prof. Ismael Rodriguez) 3,670ペソ
助手 テレサ・バルラ(Teresa Parra) 1,022ペソ

〈研修業務担当副所長室〉

副所長 エンリケ・オソリオ(Lic. Enrique Osorio)5,419ペソ
副所長秘書 マリア・ルイサ・アビラ(Maria Luisa Avila)1,000ペソ

(管理部)

経理担当チーフ アルフォンソ・アンヘレス(C.P. Alfonso Angeles) 3,670ペソ

(履修登録・広報部)

履修登録・広報チーフ ラウル・グティエレス(Lic. Raul Gutierrez) 3,670ペソ
秘書 クラウディア・ヘオルヒーナ(Claudia Georgina) 800ペソ

[履修登録課]

履修登録担当 ホルヘ・オハンゲーレン(Prof. Jorge Ojanguren)1,000ペソ

〈専門家室〉

リーダー秘書 テレサ・マシエル(Teresa Maciel) UTEより出向 1,080ペソ
バイリンガル秘書 ベロニカ・ウリベ(Veronica Uribe) 4,000ペソ
公用車運転士 エドゥアルド・デウストゥア(Eduardo Deustua) UTEより出向
815ペソ

〈その他〉 清掃係り エステラ・レムス(Estela Lemus) UTEより出向 800ペソ
マキシミリアーノ・エスピノサ(Maximiliano F. Espinosa)
UTEより出向 800ペソ

(2) - d. 機材の維持・管理体制

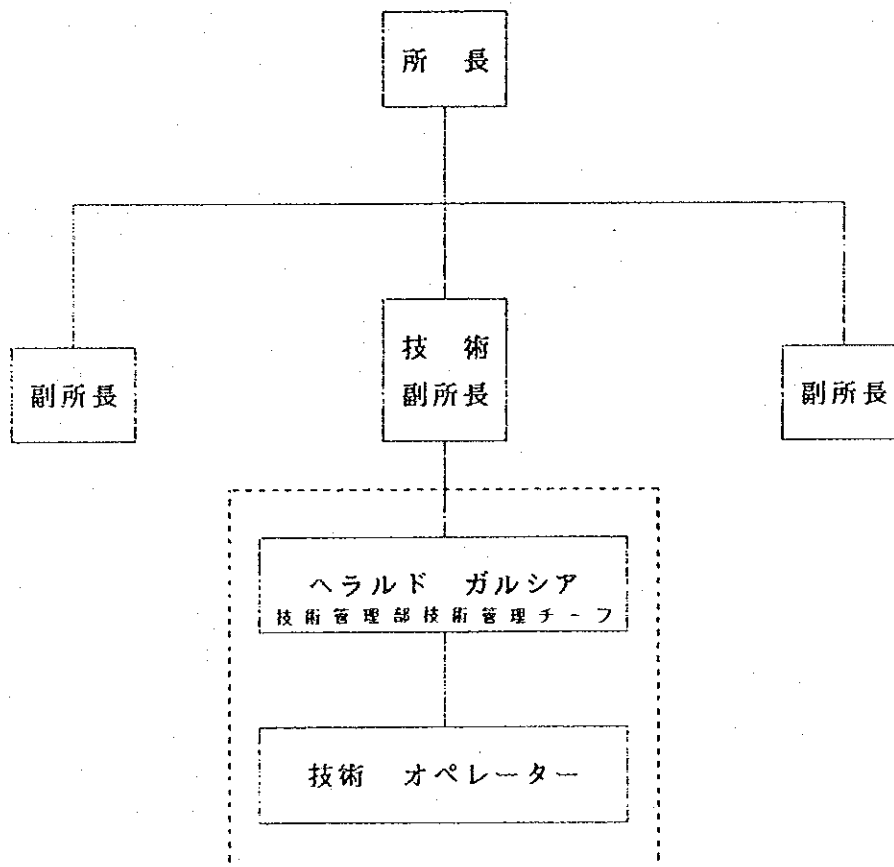
CETE機材維持管理体制について

CETE内のスタジオ、編集室、Vロケ、メンテナンス室の機材に関する維持管理は、3人の副所長のうちの1人が部長として担当している技術部門において一括されている。ここにはスイッチャー、カメラ、音声、照明、VEとして12人の技術オペレーターが働いており、機器の維持管理はチーフである”技師ヘラルド ガルシア”が中心となり、各オペレーターに指示している。

管財番号はUTE側担当者とCETE側立会いのもとに、UTEの担当者によって各機材が登録される。CETE独自の管財番号は無く、CETE側はUTEの番号を控えとして保存する。

機材のメンテナンスは各機器の使用時間計の統計により、500H、1000H・・・など各使用時間に対するチェック項目を、我々の指示でNHK方式の通りに行っている。

下に簡単なブロックダイヤを記す。



機材維持管理、メンテ担当部門

(2) -- e, 訓練コース受講生の募集・選抜の方法

受講生の募集・選抜の方法に関しては、今のところ明確なシステムは確立されていない。現状ではコースの定員が確定（原則として12人）すると、まずUTEからの応募者を数え、残りの席があれば、その数に応じて色々な放送局やプロダクション（主として同じ文部省傘下のCanal 11やTV Unamなど）に参加を呼びかけるが、この呼びかけは電話等によるもので、呼びかけ先の選定にも一定の原則はない。

その結果、同一機関から複数の応募があって、定員をオーバーすることもあるが、その場合には、インストラクター（カウンターパート）が、面接または電話による聞き取り調査を行い、応募資格や応募の動機を吟味した上で参加者を特定し、本人に合否を通知している。また、参加者が定員をオーバーしない場合でも、この面接または電話による聞き取りは実施し、あまりにもコースの基準に合わない応募者には、受講を断念して貰うとのことである。

92年度のJICAの技術普及広報費で、CETEの広報パンフレットを作成し、メキシコ国内の諸機関に配付したが（配付先は別紙）、近い将来（2～3か月後）には、CETEのコース概要を作成し、それにコースの応募基準やコースの設定時期なども付けたものを、パンフレットの配付のために作成した配付先住所録に基づいて郵送し、より多くの機関に対して開かれたコースにすることを、計画している。

現在の所は、JICAの供与機材の据え付けなどのため、コースの設定がその日ぐらして、長期計画を盛り込んだパンフレットの製作ができないているが、機材据え付けも一段落した段階で、半年分ほどのコース予定を纏めたパンフレットを作成する予定である。

CETEパンフレット配布先一覧表

平成4年度技術普及広報費にて1,000部作成。

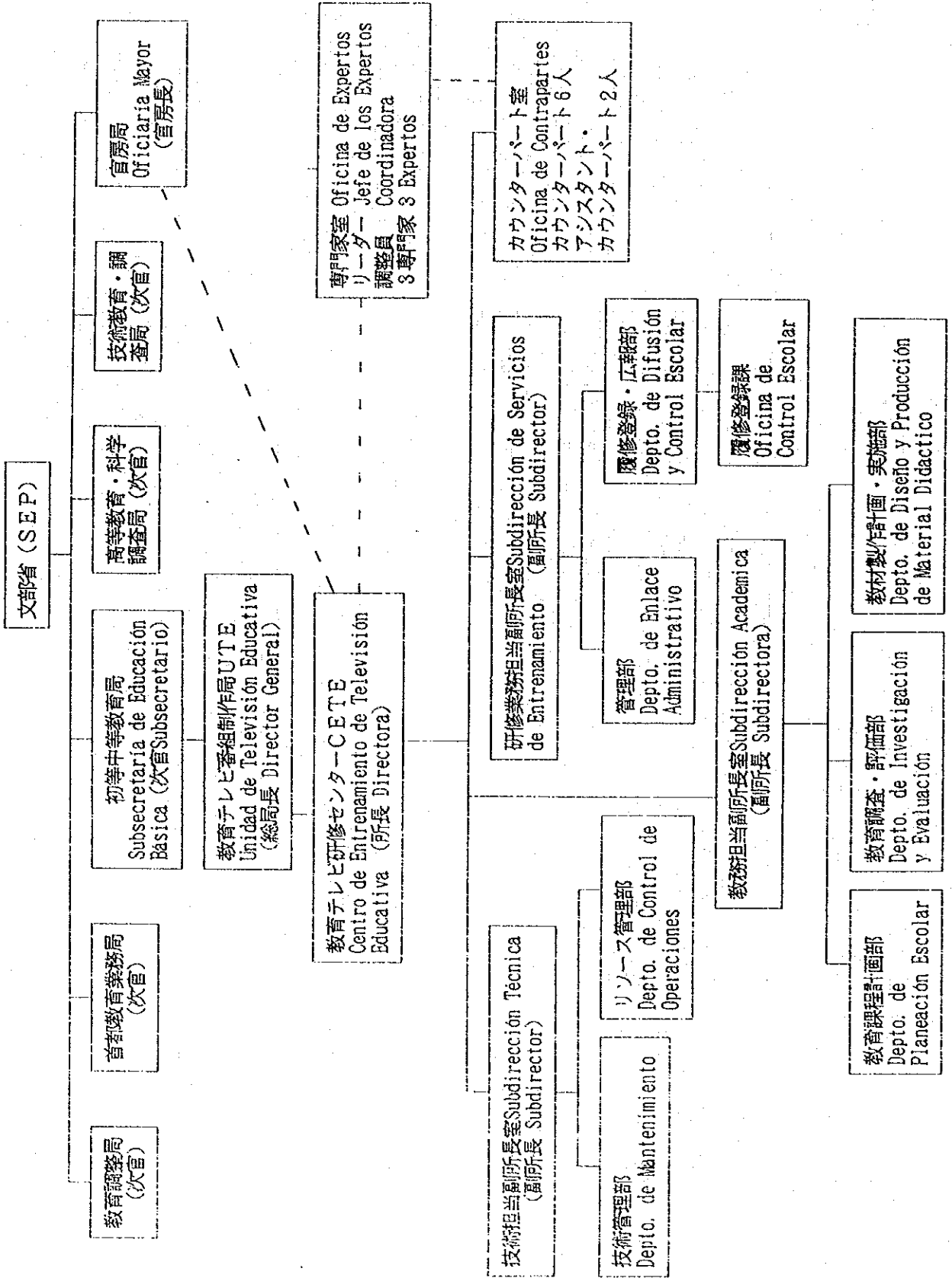
(1) メキシコ側配布実施済リスト

配布先	配布数
文部大臣、文部次官、官房長	7
州知事、州政府とその広報課	47
国内各州立の地方局	30
文部省の各総局	45
コミュニケーション学部を持つ大学の校長	45
CETE職員	42
UTE管理職員	19
計	235

(1) 日本側配布先

JICA本部、JICAメキシコ事務所、NHK、短期専門家等。

C E T E 関連組織概図



(3) - b. 予想される今後のCETEの運営形態(組織、要員、予算)

研修センターとしてのCETEの機能を十分に発揮させるには、要員数の面でも運営費の面でも、現在の2倍以上のものが必要であろう。

要員の面では、緊急に必要なのはオペレーターを2クルーにしてスタジオとポスプロA・B室を同時に運用可能にするとともに、オペレーターの待遇を改善し離職・転職をふせぐことであるが、今年度の文部省からの承認予算を見る限り実現の見込みはない。

カウンターパートについても、給与をさらに魅力的なものにしないと、優秀なインストラクターであれば民間に引き抜かれる恐れがあり、また離職・転職に備えていつでも代わり得る人材を常に養成しておくべきで、そのためにもアシスタント・カウンターパートの増員が必要であるが、これについても見通しは極めて暗い。

運営費の面では、今年度の予算で要求額の15%ほどしか認められず、必要なものはすべてUTEの経費で賄う状態である。

こうした状況の中で、UTE・CETEの上層部としても、文部省に予算の増額を働き掛けてはいるものの、メキシコ政府の苦しい財政事情から見ると、とても大幅な改善は望みようがないところである。

そこで、今後のCETEの維持・発展のためには、CETE独自の収入源を獲得してその収入で人員の増加と必要経費の確保を図ろうとの発想が出て来ている。その表れがコース受講者から受講料を徴収しようとの動きで、受講者の属する機関の公共性に依じて一定の免除規定はあるものの、参加者にCETEのコース運営に見合う費用を負担して貰う制度の確立を目指している。

今回の調査団来墨の機会に、日本側の同意が得られれば、受講料徴収についてのシステムを作り上げ、関係各機関の承認を得て早速実施に移したいと言うのが、UTE・CETEの上層部の意向のようである。また、これがCETEの運営の安定化の唯一の道とも思われる。

(4) - a. 開発計画等の上位計画における本プロジェクトの位置付けの変化

1988年に発足したサリーナス大統領による政権は教育をその重要施策にあげ、「国家近代化計画」(1989-1984)においても教育の充実を上げている。

1889年、文部省が開催した国家教育近代化諮問委員設置会議の席上、サリーナス大統領が提唱した「国家教育通信システム」計画はテレビメディアを利用した教育近代化及び拡充を図ろうという国家計画であった。

昨年1992年には、本年93年9月の新学期から中学校課程を義務教育とすることが決定した。

よって本プロジェクトは位置付けとしては、ますます重要性を帯びている状況である。

来年にはサリーナス大統領の任期は終了し、新政権が発足する。政権の交代に伴う混乱等は予想されるが、教育近代化の基本政策は次政権においても継続性を持つものと思われる。

なお、現在の文部大臣 DR. ERNESTO ZEDILLO PONCE DE LEON も有力な大統領候補の一人である。

(4) - b. 民間テレビ局を含む教育テレビ放送の現状

メキシコにおける教育テレビ放送の現状

一般的に教育テレビという場合、学校などの教育の場に直接送る学校教育番組と家庭や一般の人を対象とした教育・教養番組とがあるであろう。ここでは、仮に前者を教育番組、後者を文化番組と区別し、両者の放送がどのようにおこなわれているのか、メキシコの放送局で広域に電波のサービスエリアを持っている放送局を中心にその現状を概観することにする。

1. 放送局はいずれもメキシコ市にあり、以下の通りである。

(1) テレビシオン・アステカ

以前、イメビシオンという名称で、今年改称。メキシコ内務省が経営。

2チャンネルを持つ。第7、第13チャンネル。

放送エリアは、第13が全国をカバー、第7は全国まではカバーしていない。

なお、現在、2チャンネルまとめて、売りにでており、今年8月ごろ、売却される予定。

(2) カナル11

メキシコ文部省、国立工科大学の経営。放送エリアはメキシコ市およびその周辺。

(3) カナル22

メキシコ文化・芸術院の経営で今年6月開局。放送エリアはメキシコ市およびその周辺。

(4) テレビサ

メキシコで唯一・最大の商業ベースの放送局。4つのチャンネルを持つ。

第2チャンネル：メキシコ全国をカバー

第4チャンネル：全国まではカバーしていない

第5チャンネル：全国まではカバーしていない

第9チャンネル：第4、第5よりカバー範囲が狭くほぼ首都圏。

(5) UTE (文部省教育番組制作局)

CETEの親局。一般的には放送局とは、認知されてはいない。しかし、現在、

「テレビ中学校」およびその他の番組を、衛星を利用して放送しており、その限りでは放送局といえよう。

(6) 以上の他に、カプレビシオンとマルチビシオンがあるが、いずれも契約料による受信形式であり、教育放送はおこなっていない。

2、各放送局の教育放送

(1) テレビシオン・アステカ

第7チャンネル：「テレビ中学校」の放送、8：00～14：00、放送エリアはテレビサの同じ放送と競合しないエリア（首都圏以外）をカバー。他に、教育放送はおこなっていない。なお、「テレビ中学校」については、後述。

第13チャンネル：文部省が制作委託したこども人形劇（教育）、国立科学技術局による科学番組やメキシコの歴史を扱った番組（文化）など、1日、約3時間。

(2) カナル11

教育と文化の専門局。しかし学校を直接対象とする教育放送はおこなっていない。クラシックの音楽番組、子供をもつ親向けの番組、科学番組、歴史、文化番組など幅広く放送している。

自社制作の他、政府提供のもの、内外からの購入番組、なかにはNHKの教育番組（こども人形劇、理科、算数の番組）もある。放送時間は、朝7時30分～夜12時ごろまで、ニュース、コマーシャルをはさんでの放送である。

(3) カナル22

経営母体の性格から、文化的放送のみである。

放送は夜7時過ぎから深夜まで、夜間だけの放送であり、ほとんどが外部からの購入番組である。作家の作品を紹介するもの、絵画や彫刻の紹介、映画など、映画では黒沢明の映画も多く紹介されている。

(4) テレビサ

チャンネル第2、第4には教育放送は皆無である。

チャンネル第5では、毎週、日曜あさの子供向け人形劇番組が唯一の娯楽性のある教育番組。

チャンネル第9では、8：00から14：00まで、テレビシオン・アステカと同じ「テレビ中学校」が首都圏に放送されている。これ以外に、教育番組は放送されていない。

なお、なぜ、商業放送局が、教育番組を放送しているかという点、メキシコには「ラジオ・テレビジョン・映画連邦法」という法律があり、いかなる放送局であれ全番組の12.5%は政府・国家の教育、文化、政治に関する放送に充てなくてはならないと定めているからである。

(5) U T E

従来、ここで「テレビ中学校」の番組の制作のみをおこない、放送は他の放送局でという形式であったが、去年、夏より衛星を利用して全国に放送もするようになった。「テレビ中学校」が終わる2時以降夜7時過ぎまで、教師向けの番組を中心に放送。また就学前の幼児向けの番組（生活習慣の適応をねらいとした、1本7分程度）を「テレビ中学校」の放送カリキュラムの間隙を利用して放送している。

3、テレビ中学校

「テレビ中学校」の発足およびその経緯に関しては、CETEプロジェクトの設立背景として各種報告書に詳しいので、省略する。（「メキシコ教育テレビ研修センター事前調査団報告書」平成元年12月その他）

なお、「テレビ中学校」は、全国で約8000校、生徒数約50万人。

1週間の番組編成はおおよそ以下の通りである。（履修内容により編成が変わる）

時 間	学年	月	火	水	木	金
8:02	1		数 学			
8:17	2		数 学			
8:34	3		数 学			
8:51		教科外のミニ番組(コンピューターやテレビカメラ、音楽、タイトルなどに関する情報)				
9:02	1		スペイン語			
9:17	2		スペイン語			
9:34	3		スペイン語			
9:51		就学前の幼児向けミニ番組				
10:02	1		自 然 科 学			
10:17	2		自 然 科 学			
10:34	3		自 然 科 学			
10:51		ミニ番組(再放送)				
11:02	1		社 会 科 学			
11:17	2		社 会 科 学			
11:34	3		社 会 科 学			
11:51		メキシコの歴史を紹介するミニ番組など				
12:07		ミニ番組(再放送)				
12:11	1		英 語			
12:26	2		英 語			
12:43	3		英 語			
13:00		ミニ番組(再放送)				
13:11	1		技 術 ・ 芸 術 ・ 体 育			
13:26	2		技 術 ・ 芸 術 ・ 体 育			
13:43	3		技 術 ・ 芸 術 ・ 体 育			

なお、7月、8月は学校が休暇のため、新学期から「テレビ中学校」で学びたいひとや教師のためのオリエンテーションの番組など、特別編成がとられている。教育的なものばかりで、放送時間も夜7時過ぎまで、衛星で放送している。

(5) メキシコ側から予想される要望事項及び調査団との協議要望事項

1. CETEの研修コースの中に、RDで決められたものの他に、外部（国内・国外を問わず）講師による特別コースを導入することの是非について日本側と協議し、了解を得たい。また、カウンターパートによる特別コースについても、同様に了解を得たい。

特別コースと言っても、研修センターの性格からテレビ分野に関係するものに限られる。

例としては、アナウンサー研修、台本製作、テレビ言語の構造分析、テレビを利用した教育の構造、技術スタッフの指揮、メイクアップ、アニメーション等が上げられる。

2. CETEの研修コースの運営費を補うために、研修参加者からコース登録料（受講料）を徴収することの是非について日本側と協議し、了解を得たい。

登録料の額については、別紙1の試案を参照のこと。

また、登録料の減免措置については、別紙2参照のこと。

3. 1994年度のJICAよりの機材供与として、デジタルVTR、スタジオ照明用メモリーその他の機材、スタジオカメラ用クレーン、VTR編集装置の付属品、音声関連機器、パーツ類及びメンテ関連のCD教材など、別紙3、4に記されたものを要請したい。

4. 当プロジェクトのRD期間終了後の後続プロジェクトとして、遠隔教育についての新テクノロジーを指導する世界的な研修センターを設立する構想を持っている。

これについても引き続き日本からの技術協力を得たい。

(注) この計画については、経費約50億円というサバウ局長からのアドバルーンが上がっているのみである。具体的に書かれた計画の提出を求めているところである。

5. 上記に関連して、第3国（先進国）を巻き込んだトライアングルの技術協力システムを作り上げる可能性はあるか否か。例えば、日本とカナダが協力してメキシコに研修センターを設立するようなことの可能性について知りたい。

<別紙1>

各研修のコストと参加者を10名とした場合の料金の提案

研修名	コスト総額	参加者数	料金
番組制作（基礎）	62,851.58	10	6,285.15 ペン
番組制作（上級）	68,420.61	10	6,842.06
番組制作実習	103,002.23	10	10,300.22
テレビカメラ	105,167.45	10	10,516.74
照明	82,803.38	10	8,280.33
音声	49,691.17	10	4,969.11
編集とポストプロ	82,803.38	10	8,280.33
映像技術とVTR 技術	41,851.35	10	4,185.13
保守整備技術	41,851.35	10	4,185.13

必要経費の一部と
 回収しようと意図するのは、間接費を軽減するために上記コストの30% だけであらね、

30% を適用した回収のための料金

研修名	参加者一人当たりコスト	30% の間接費を適用した 回収の為の料金 * a *
番組制作（基礎）	6,285.15	1,885.54 ペン
番組制作（上級）	6,842.06	2,052.61
番組制作実習	10,300.22	3,090.06
テレビカメラ	10,516.74	3,155.02
照明	8,280.33	2,484.09
音声	4,969.11	1,490.73
編集とポストプロ	8,280.33	2,484.09
映像技術とVTR 技術	4,185.13	1,255.53
保守整備技術	4,185.13	1,255.53

<別紙2>

所属先別料金体系案

研修名	所属先別料金体系案			
	UTE/CETEC類 受講料免除率100%	専門学校 受講料免除率75%	大学 受講料免除率50%	民間企業 受講料免除率なし
番組制作（基礎）	—	471.39	942.77	1,885.54
番組制作（上級）	—	513.15	1,026.30	2,052.61
番組制作実習	—	772.52	1,545.03	3,090.06
テレビカメラ	—	788.76	1,577.51	3,155.02
照明	—	621.03	1,242.04	2,484.09
音声	—	372.69	745.36	1,490.73
編集とポストプロ	—	621.02	1,242.04	2,484.09
映像技術とVTR 技術	—	313.88	627.76	1,255.53
保守整備技術	—	313.88	627.76	1,255.53

<別紙 3 >

PROPUESTA DE NECESIDADES PARA IMPLEMENTACION
DE LOS CURSOS EN EL C.E.T.E.

Para el Sistema IKS, los cursos que
nos interesa tener son:

- | | | | | |
|----|----------|-------------------------------|---|--------------------|
| a) | BVH-3000 | Fault Finding And Over Haul | } | MATERIAL DIDACTICO |
| b) | BUP-7 | Fault Finding And Maintenance | | |
| c) | BVV-5 | Fault Finding And Over Haul | | |

Componentes para Sistema Digital Integral

- a) VTR Digital (Formato D-2 ó Betacam Digital)
- b) Switcher de video Digital
- c) Mixer de Audio Digital
- d) Generador de Efectos Digitales
- e) Accesorios para el Sistema

CURSO DE AUDIO EDICION Y POST-PRODUCCION

NECESIDADES:

- * Impresora Compatible y Disk Drive, para el Editor 910 SONY y el IPS 110 de G.V. para la hoja de E.D.L.
- * Computadora para realizar Animaciones Digitales con Equipos Perifericos, Paleta - Disk Drive, etc.
- * Equalizador de tipo Gráfico
- * Grabadora de Audio Multi-trac 8 Canales.

<別紙 4 >

Partes y Accesorios

- a) Conectores para Cable Triaxial
para Cámara BVP-270
- b) Tablilla de extensión para Equipo IPS-110 de
Grass Valley Group
- c) Caja de luz para Ajuste de Cámaras
- d) Juego de Patrones de Ajuste
para Caja de luz.

* MEMORIA PARA CONSOLA DIMASS.

LIGHTING CONTROL CONSOLE.
MARCA RDS.
MODELO DIMASS DE 30 DIMMERS.

* DE 3 A 5 EQUIPOS PARA ILUMINACION
ELLI SPOT LIGHT.

ELLI SPTO LIGHT.
MARCA RDS.
MODELO ELLI SPOT LIGHT 940-12
750W MAX.

* 20 EQUIPOS PARA ILUMINACION PAR-LIGHT 64

PAR-LIGHT.
MARCA RDS.
MODELO PAR 64.

* 2 HMI MIGHTY FRESNEL.

HMI MIGHTY FRESNEL
MARCA RDS.
MODELO HMI MIGHTY FRESNEL 575W

* CRENE.

MARCA VIENTEN ó SHOTOKU
MODELO MERLIN CAMERA ARM 3257
ó MINE-CRE.

* TRACKING BASE.

MARCA VIENTEN.
MODELO TRACKING BASE (3510-3)

a) ANALIZADOR DE VIDEO.

b) MEDIDOR DE FASE SC-H.

INCISO a Y b PARA CURSO DE ING.
EN MANTENIMIENTO.

平成6年度希望供与機材

(5) 別紙3)と(5)別紙4)の和訳及び積算を付した資料。

平成4年7月21日(水)

下記の型名については、メキシコ側から要望のせているもの以外は積算する際に仮に仮定したものです。

	価格(千円)
1) IKS-110用教材ソフト(添付資料参照)	
・BVH-300 FAULT FINDING AND OVERHAUL	293
・BVP-7 FAULT FINDING AND OVERHAUL	293
・BVV-5 FAULT FINDING AND OVERHAUL	293
2) デジタルシステム	
・デジタルVTR3台(D-2 または 他のデジタルβカムVTR)	33,000
・デジタルビデオスイッチャー	24,200
・デジタルオーディオミキサー	17,600
・デジタル効果発生器	19,500
・その他周辺機器(編集器、同期信号発生器、映像モニター、音声モニター、ラック、ケーブルなど)	20,000
3) パーツやアクセサリ	
・30mトライアキシャルケーブル(カメラはBVP-270)	320
・IPS-110(G.V.G製編集システム)用延長基板	76
・投射型カメラ調整機器(電気式)	165
・上記用パターン(グレースケールパターン、レジパターン、解像度パターンなど各種)	143
4) その他に必要な機器	
・下記機器間で互換性のあるプリンターとディスクドライブ (BVE-910編集器とIPS-110の編集データ打ち出し用)	1,626
・デジタルアニメーション作成用コンピューター (周辺機器を含む;パレット、ディスクドライブなど)	30,000
・オーディオグラフィックイコライザー	450
・8CHオーディオマルチトラック収録器(1/2インチ)	3,800
・ビデオスペクトラムアナライザー	5,000
・SC-H位相測定器	500

5) 照明機器

・照明コントロールコンソール用メモリー	2,000
・ランプ付照明器具3~5台 (型名: エリスポットライト940-12)	450
・ランプ付照明器具20台 (型名: PAR-64)	1,000
・ランプ付照明器具2台 (型名: HMI-575W)	1,800

6) 小型カメラクレーン

・カメラ (型名: BVP-T7AまたはBVT-T70)	5,300
・カメラアダプター (型名: CA-50)	500
・CCU (型名: CCU-350)	1,400
・リモコンパネル (型名: RM-P3)	200
・5吋VF (型名: BVF-55)	500
・レンズ (型名: J8x6B)	1,500
・サーボカムクレーン (型名: TK-38)	7,000
・ハイハット (型名: TZ-16)	100
・カメラペDESTAL (型名: TP-54)	2,100
・その他付属品 (システムとのドッキングのため)	5,000

合計 186,109

以上が、メキシコ側の要望する供与機材です。しかし、供与可能かどうかによりますが、金額が大きいため専門家の指導のもとで、プライオリティーを付ける必要があると思います。

ただし、工事費は別で約5,000千円、工事日数は約20日間。

② 各種資料

教育テレビ研修センター (CETE)
1993年度下半期及び1994年度上半期/各コースのスケジュール
(暫定案)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----

番組制作部門

番組制作基礎			+++									
番組制作応用				+++								
番組制作実習												
人形劇番組制作												

制作技術部門

音声

音声技術												
音声/オンセット												
音声/スタジオ												

照明

照明初歩												
照明基礎												
照明実習												

編集とポストプロダクション

特殊/編集 -追加		(CETE)	+++ (=) (定期)									
編集とポストプロ												
追加機器操作資格取得												

カメラ

(=) (定期)

カメラ特殊操作				(CETE)	+++ (=) (定期)							
スタジオ用カメラ操作												
携帯用カメラ												
携帯用機器実習												

メンテナンス技術部門

調整とメンテナンス

VTR 調整とメンテ												
BC UM 調整とメンテ												
機器類調整とメンテ												

機器類の調整とメンテナンスについての資格取得

1° UMATIC タイプ												
2° BETACAM タイプ												
3° 1インチ タイプ												
4° カラ/スタジオ携帯タイプ												

ビデオとVTRの基礎

ビデオとVTRの基礎												
予防的メンテナンス												
パッケージング												

エキスパートを招く短期特別コースは年間4回の開催が考えられている

教育テレビ研修センター(CETE)
1993年度下半期及び1994年度上半期/各コースのスケジュール
(暫定案)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----

番組制作部門

番組制作基礎	(9/6-28)	+++		(1/17-2/4)	+++		(4/25-5/16)	+++			
番組制作応用		(10/4-22)	+++		(2/7-25)	+++	(5/23-6/10)	+++			
番組制作実習	(8/23-9/10)	+++		+++ (11/8-26)		(3/7-25)	+++		(6/20-7/8)	+++	
人形劇番組制作		+++ (=)	(7/26-8/20)		(=)定期(8/23-25)						

制作技術部門

音声

音声技術		+++ (7/26-9/6)									
音声/吹-ツキ					(1/17-28)	+++					
音声/スタジオ										+++ (5/2-13)	

照明

照明初歩		+++ (8/9-13)						+++ (3/7-11)			
照明基礎		+++ (8/23-27)						+++ (3/14-18)			
照明実習		(9/20-10/1)	+++							+++ (5/9-20)	

編集とポストプロダクション

特殊/編集-スガ	(9/13-10/1) (CETE)	+++ (=)	(定期)	(11/29-31)							
編集とポストプロ					(2/31-3/18)	+++	(5/30-6/17)	+++			
スガ機器操作資格取得											▶▶▶ 下半期

カメラ

カメラ特殊操作		(11/1-26)	(CETE)	+++ (=)	(定期)	(11/29-31)					
スガ初級操作				(12/6-17)	+++		(4/18-29)	+++			
携帯用カメラ						+++ (1/17-28)		(6/13-24)	+++		
携帯用機器実習						+++ (2/7-18)					

メンテナンス技術部門

調整とメンテナンス

VTR 調整とメンテ		+++ (8/9-20)									
BC UM 調整とメンテ		(10/18-29)	+++								
機器類調整とメンテ			(11/8-12/3)	+++				+++ (2/21-3/18)			

機器類の調整とメンテナンスについての資格取得

1° UMATIC 917										+++ (4/18-29)	
2° BETACAM 917										+++ (5/2-13)	
3° 1インチ 917										(5/23-6/3)	+++
4° ミリ/スリ携帯 917										(6/13-24)	+++

ビデオとVTRの基礎

ビデオとVTRの基礎		(9/20-10/15)	+++		(1/17-2/11)	+++					
予防的メンテ				(12/6-17)	+++					+++ (4/12-26)	
パッケージ							(3/26-4/8)	+++			

エキスパートを招く短期特別コースは年間4回の開催が考えられている

教育テレビジョン(UTE)
番組制作実績

年次	テレビ中学校	文化	その他： テレビ小学校 テレビ幼稚園 先住民教育テレビ PEAM（教員先端研修プログラム） 研修と能力開発 教職番組 特別番組 ニュース番組	合計
1988	200	64	136	400
1989	330	48	222	600
1990	528		659	1187
1991	151		1499	1650
1992	1022		1142	2164
1993	1222		1803	3025
合計	3453	112	5461	9026

教育テレビ (UTE)
番組放送実績

年次	テレビ中学校：時間／年	その他	総計
1988	1524	—	1524
1989	1518	—	1518
1990	1524	—	1524
1991	1518	—	1518
1992	2687	—	2687
1993	819	3107	3926
合計	9590	3107	12697

エドゥビシオン (EDUVISION)

カルロス・サリーナス・デ・ゴターリ メキシコ合衆国立憲大統領の就任当初、文部省では全面的に国家教育制度 (Sistema Educativo Nacional) 用途向けのテレビチャンネルを創るという構想が着手された。

このテレビ放送は、多様な番組展開により、様々な教育レベルの生徒、教師、父母を支援しようというものであった。

プロジェクト案が作成され、このテレビ放送の実現に向けてプロジェクトの第一段階的な手続きが行われた。

しかし、運悪く国内にはその他に優先すべきことがあり、このプロジェクトを継続することができなくなった。

エドゥコム (EDUCOM)

これと平行して、エドゥコムと呼ばれるプロジェクトが実施されていた。このプロジェクトは、多くの講堂や教室に適切な内部備品やマルチメディア用電子機器を備え、これらにエドゥコムの名をつけようというものであった。機器の内容は以下のとおりである。

- テレビ受像機
- ビデオ録画機
- 文字放送用モニター
- コンピューター
- 電話
- 映写機

この教室は生徒や教員の学習の場として使用され、例えば、教師たちの研修を行うことも考えられていた。

しかし、基礎教育（就学前教育、初等教育、中等教育）の学習計画とスケジュールを改正する必要性に迫られていたことやその他の緊急業務が控えていたことなどから、このプロジェクトを実行することができなかった。

しかし、これに替わるようなプロジェクトも進行していたのである。

教育テレビジョン
(LA TELEVISION EDUCATIVA)

教育テレビジョンは、以前からテレビ中学校の番組の制作、放送に携わってきたが、業務を拡張し様々なレベルと教育部門に手を伸ばすことになった。そのためのプロジェクト案を作成しこれを実施するために、関連の各機関と連絡がとられた。内容の指針は以下のとおりである。

- テレビ幼稚園
- テレビ小学校
- 教員の先端的研修プログラムをテレビ番組を通して支援

テレビ幼稚園とテレビ小学校の番組は、主としてこれらの教育レベルにある生徒向けのものであり、番組を通して彼らの学習を支援するものである。

「教員の先端的研修プログラム」を支援するための番組は、その名の通り、全面的に就学前教育、初等教育、中等教育の教員向けに制作され放送されたものであり、現在も同様である。

この目的のために、メキシコ市には65の研修センターが、また、国内の各州には平均10のセンターが、基礎教育レベルの学校の施設を利用し、設置された。これらのセンターにはパラボラアンテナ、モニター、ビデオカメラが備え付けられた。

本年もこれらの施設は同じ目的のもとに使用されているが、前述のプログラムの現在の呼称は「教員研修プログラム」となっている。

テレビ幼稚園
(TELEPREESCOLAR)

このプロジェクトは、メキシコの公的な教育テレビが子供たちや就学前教育の教員を対象にした最初のものである。

それまでの番組制作の狙いは別のものであったし、また、対象者も異なっていた。例えば、「完璧な抱擁(Un abrazo completo)」は主として父母向けのものであった。

テレビ幼稚園の場合、プロジェクトの構想は就学前教育監督局と教育テレビジョン(UTE)が共同で作成した。

数カ月間の作業を経て(1991年10月から1992年2月)、現在のプロジェクト内容で合意が成立し、このプロジェクトには「ニュースカプセル(Cápsulas Informativas)」の名称が付された。

各番組の長さは約3分から5分で、一日に2～3本を放映するよう計画された。放映時間は9:51から10:01に決定した。

「ニュースカプセル」放映の第一段階は、1993年4月1日に開始され、学年末の6月30日まで続けられた。首都圏のバージェデメヒコでは第9チャンネル、全国放送網として第7チャンネル、さらに、第17チャンネル(文部省-SEP-のチャンネル)が使われた。

この段階で放送を受信した幼稚園の数は50で、園内の教育活動への使用状況に関する情報を得るため、これらの幼稚園では監視プログラムが実施された。

「ニュースカプセル」で採用するジャンル、パーソナリティー、プロットは4、5、6歳児の特性を考慮して選ばれたものである。また同じ理由から、アニメ、人形劇、特殊効果等を使用することが決定された。

各番組のテーマや内容は現行の就学前教育プログラム(Programas de Educación Preescolar)に基づき選定された。また、選定は主として各テーマの重要性や有効性に基づいてなされた。

初等教育教育課程カプセル
(CAPSULAS CURRICULARES DE EDUCACION PRIMARIA)

初等教育監督局は、教育テレビジョン(UTE)と協力して、教員の日常の業務を支援し、生徒が知識を得る上での刺激となり、また、身体的・知能的な能力の向上を促すようなテレビ番組の構想に着手した。これにより、彼らが学習のプロセスに積極的に参加することを狙いとしている。

「教育課程カプセル」の番組は現在までのところ、300本からなり、一本あたりの時間は3分から5分である。また、3つの初等教育課程に分けられている。

各課程は、対象児童の年齢、興味の対象、発達の特徴を考慮した特定の形式をふまえて作成されており、次のようになっている。

第1課程(第1、2学年) - ニュースと物語

第2課程(第3、4学年) - 劇化作品とドキュメンタリー

第3課程(第5、6学年) - ドキュメンタリー

各テーマは現行プログラムと再編集による最新のものから選ばれたものであり、各教科ごとの方法論的な視点が尊重されている。

選定は特定の基準—重要性、時宜を得ていること、取扱の難しさ—により行われた。また、初等教育のカリキュラムおよびプログラムがその変更プロセスにあることから、各テーマが有効であるかどうかも要点となる。

放送は1993年4月19日に開始され、連邦区首都圏第9チャンネル、文部省-SEP-第17チャンネル(Morelos衛星II)、国営放送網第7チャンネルで11:51から12:06にかけて行われた。

毎週月曜日には第1課程、水曜日には第2課程、金曜日には第3課程の番組が割り当てられた。

水曜日と木曜日には CONACYTにより、初等教育の全学年を対象とした「素晴らしい科学の世界(El Mundo Maravilloso de la Ciencia)」が放映された。

評価およびフォローアップに加わった小学校は連邦区では40校で、この内の25校のそれぞれにモニター4機、ビデオ録画機1台が備えつけられた。また、残りの15校は自己の所有による機器を用いて参加した。

これらの学校では3種類の評価が実施された。一つは、これを用いた場合の教員や生徒の態度や業務状況の観察を目的とした「直接評価」であり、意見やアドバイスを得るため

の面接も行った。

2つめは「間接評価」であり、非公開の質問表により教師たちが「カプセル」を評価した。

3つめは「自己評価」である。参加各校は、次の3つの側面の評価に関する書類を送付した。

- － 教育技術的側面
- － テレビ技術的側面
- － 組織化の戦略的側面

また、生徒がこの制度を体験して書いた絵や作文が添付された。

普及戦略は連邦区の5地域の学校にプロジェクトと1993年4月19日から6月30日までの番組編成に関するインフォメーションをのせたディブティックを送付することであった。これは、教育と学習のプロセスにおいて、教師たちにプロジェクトに興味をもってもらうこと、また、教師たちが前もって放送内容を知ること、で、「カプセル」に特定の目的をもたせ、授業内容を整えることができるよう配慮したものである。

この第一段階の評価が終了し、メキシコ連邦区と5つの州で行われた3タイプの評価により得られた結果が1つの書類にまとめられた。

教育課程カプセルの放送を一般化するために、60'プロモーションプログラム、つまり、プロジェクトに関する総合的な情報、方法論的アドバイス、教育的なテレビ利用がもつ利点、テレビ受像機とビデオ録画機の設置と使用法、ビデオライブラリーを作る上でのアドバイス、6か月間の番組編成表をのせた小冊子による普及やプロモーションポスターによる普及が計画された。

前述の評価により、教員には放送時間を最大限に利用する必要があることが明らかになった。番組のあり方に新たな方法を導入することが提案されたのはこのためである。また、教育課程的な内容やレクリエーション的な内容の番組、さらに、教員向けの番組による番組編成が提案された。また、休暇や学期中に学んだ内容を補強するための番組編成が提案された。

附属資料

メキシコ教育テレビ研修センターに関する

② 中等教育に関する統計

はじめに

中等教育の特徴

中等教育には、普通教育、社会人向け教育、テレビ中等教育、技術教育、公開教育があり、公開教育を除いたすべては学校における就学の形態をとる。

中等教育は初等教育課程を終了した 12 歳から 16 歳の子供に 3 年にわたって行われる。中等教育は中等職業教育や高等教育を受ける上で必須であり準備教育であるといえよう。

普通中等教育は初等教育を終了した 12 歳から 16 歳の子供を対象に行われる。普通中等教育は中等職業教育や高等教育を受ける上での準備教育である。

社会人向け中等教育は 16 歳を超えた人々、あるいは仕事に就いているために普通教育を受けられない人々を対象に行われている。

テレビ中学校はテレビを通して行われる中等教育であり、中学校がない各地方に居住する若者を対象にしている。

技術中学校は工業、農・牧畜業、漁業、林業などの生産活動について、生徒に職業訓練を行う。

目的

- 中等教育の総合目的は生徒が知識を広め、初等教育で習得した能力を向上させることにある。
- 生徒に以後の学業の選択肢についての知識を与えること、または、職業に就くこと。

中等教育
総生徒数 クラス数 学校数 教員数

年度	生徒数	クラス数	学校数	教員数
87-88	4,117,871	117,904	18,020	238,739
88-89	4,355,334	122,211	18,516	233,784
89-90	4,267,156	124,716	18,686	233,042
90-91	4,190,190	127,058	19,228	234,293
91-92	4,160,692	129,766	19,672	235,832

中等教育（国内合計）
学年別、性別による生徒数

		第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	合計
87-88	女子	---	---	---	---
	男子	---	---	---	---
	合計	---	---	---	---
88-89	女子	765,075	703,249	642,162	2,110,486
	男子	847,238	747,650	649,960	2,244,848
	合計	1,612,313	1,450,899	1,292,122	4,355,334
89-90	女子	747,884	691,034	635,356	2,074,324
	男子	826,684	728,671	637,477	2,192,832
	合計	1,574,568	1,419,755	1,272,833	4,267,156
90-91	女子	733,239	682,721	625,525	2,041,485
	男子	809,370	716,144	623,191	2,148,705
	合計	1,542,609	1,398,865	1,248,716	4,190,190
91-92	女子	733,185	675,129	623,245	2,031,559
	男子	803,441	708,687	617,005	2,129,133
	合計	1,536,626	1,383,816	1,240,250	4,160,692

出典／国家教育制度基礎統計 1987-1992-文部省

中等教育 / 在籍生徒数

1987-1988	1988-1989	1989-1990	1990-1991	1991-1992
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

連 邦 区 立 中 学 校	普通及び社会人向け	1,882,091	1,824,388	1,749,001	1,672,041	1,617,364
	テレビ中学校	196,004	207,296	213,520	218,590	222,209
	技術中学校	1,023,131	1,035,944	1,032,983	1,021,451	1,030,301
	合計	3,101,226	3,067,628	2,995,504	2,912,082	2,869,874

州 自 立 治 校	普通及び社会人向	632,189	645,464	637,018	632,484	630,427
	合計	929,842	940,173	931,552	940,215	952,701

州 立 校	テレビ中学校	244,895	240,303	239,384	250,617	261,711
	技術中学校	52,758	54,406	55,150	57,114	60,563
	合計	297,653	294,709	294,534	307,731	322,274

私 立 校	普通及び社会人向け	333,481	298,597	292,865	293,572	294,548
	テレビ中学校	593	756	766	886	963
	技術中学校	50,149	48,180	46,469	43,435	42,606
	合計	384,223	347,533	340,100	337,893	338,117

中等教育／教職員数

1987-1988	1988-1989	1989-1990	1990-1991	1991-1992
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

連邦 区立 中学校	普通及び社会人向け	94,364	91,494	88,450	87,476	86,380
	テレビ中学校	7,152	7,485	8,167	8,887	9,456
	技術中学校	50,798	49,841	50,954	50,587	51,186
	合計	152,385	148,820	147,571	146,950	147,022

州自 立治 校校	普通及び社会人向	38,920	39,929	40,150	40,497	40,278
	合計	54,767	56,306	57,125	50,283	59,098

州 立 校	テレビ中学校	12,367	12,931	13,387	13,952	14,769
	技術中学校	3,480	3,446	3,588	3,834	4,051
	合計	15,847	16,377	16,975	17,786	18,820

私 立 校	普通及び社会人向け	27,585	24,754	24,448	25,226	25,872
	テレビ中学校	24	33	42	43	40
	技術中学校	3,978	3,871	3,856	3,791	3,800
	合計	31,587	28,658	28,346	29,060	29,712

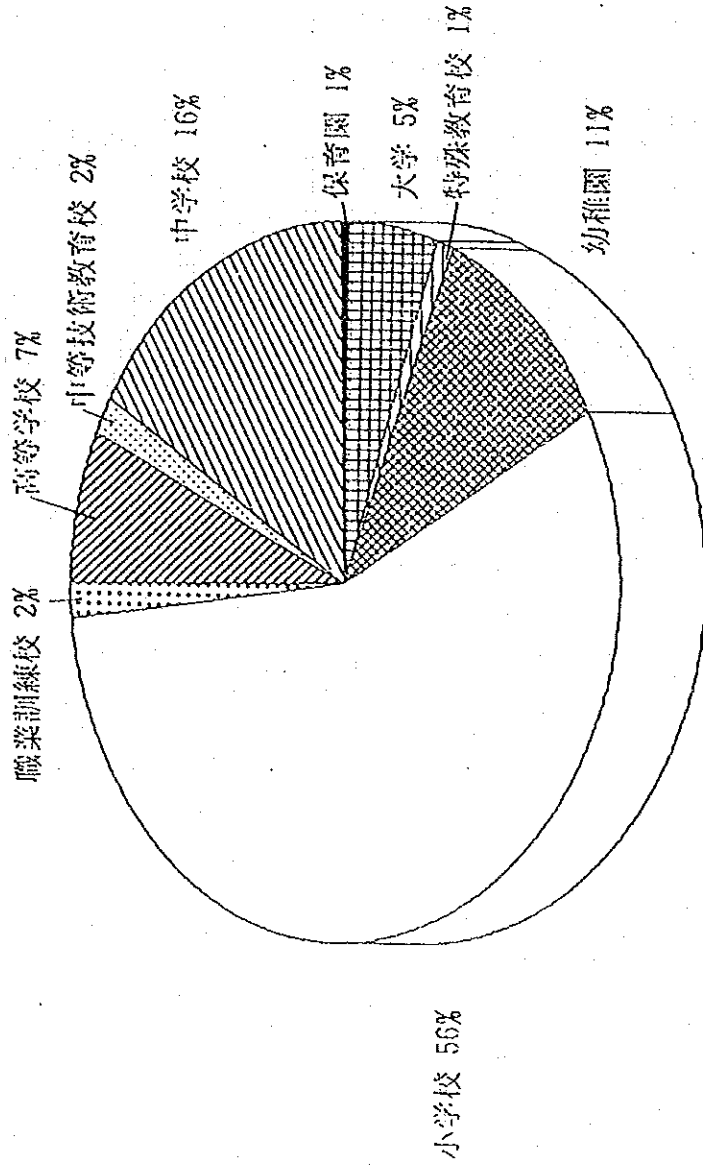
中等教育／タイプ別生徒数

	1987-1988	1988-1989	1989-1990	1990-1991	1991-1992
普通及び 社会人向け	2,847,761	2,768,449	2,678,884	2,598,097	2,531,339 61.00064775
テレビ中学校	441,492 9.9%	448,355 10.29%	453,678 10.63%	469,583 11.20%	484,883 11.68%
技術中学校	1,126,038	1,138,530	1,134,602	1,122,000	1,133,470 27.31455732
合計	4,415,291	4,355,334	4,267,164	4,189,680	4,149,692

学年別生徒数／全国合計

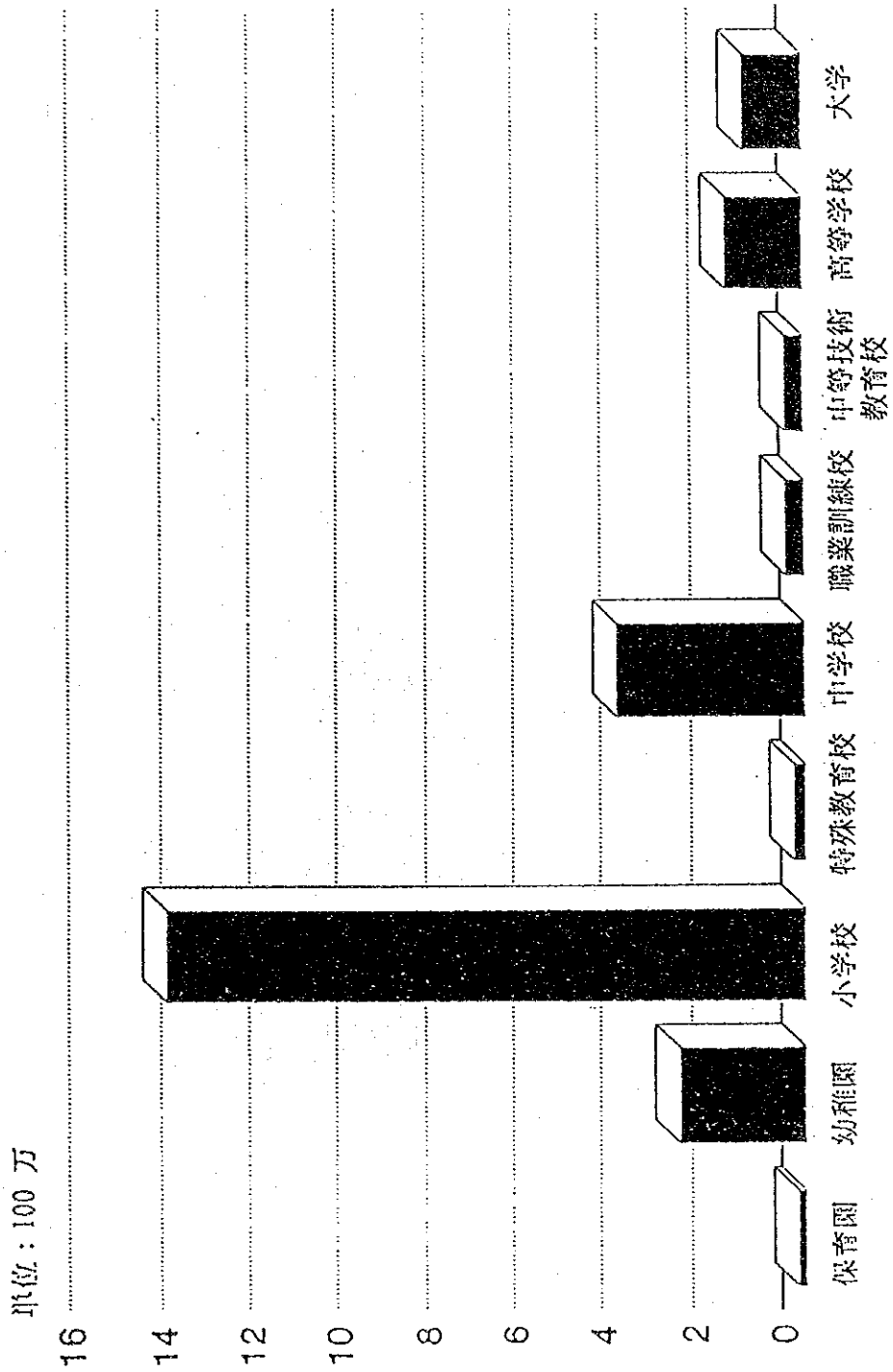
	1987-1988	1988-1989	1989-1990	1990-1991	1991-1992
第1学年	1,652,495	1,612,313	1,574,568	1,542,609	1,536,626
第2学年	1,477,482	1,450,899	1,419,755	1,398,865	1,383,816
第3学年	1,286,651	1,292,122	1,272,833	1,248,716	1,240,250
合計	4,416,628	4,355,334	4,267,156	4,190,190	4,160,692

文部省
国家教育制度



合計 25,612,387

文部省 国家教育制度

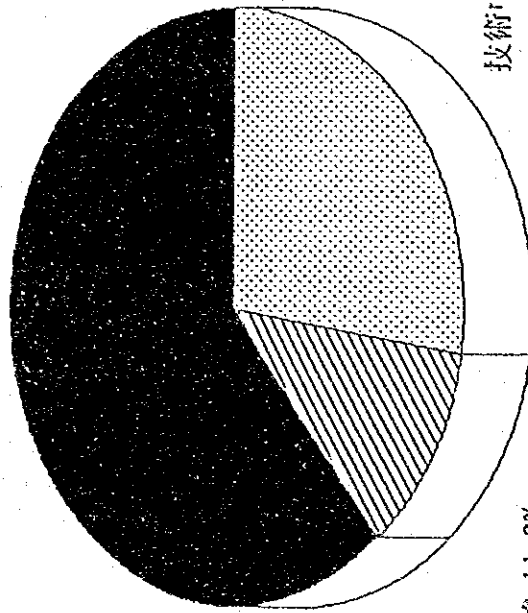


合計：25,612,387

中等教育

1991 - 1992

普通及び社会人向け中学校 61.1%



技術中学校 27.3%

テレビ中学校 11.6%

EDUCACION SECUNDARIA

中學教育統計

INFORMACION ESTADISTICA

CENTRO DE ENTRENAMIENTO DE TELEVISION EDUCATIVA

EDUCACION SECUNDARIA

INFORMACION ESTADISTICA

AGOSTO / 1993.

INTRODUCCION

CARACTERISTICAS

中学校教育の特性

La educación secundaria se imparte en los siguientes servicios: general, para trabajadores, telesecundaria, técnica y abierta; a excepción de la abierta, todos los demás servicios componen la secundaria escolarizada.

La educación secundaria se proporciona en tres años a la población de 12 a 16 años de edad que haya concluido la educación primaria. Es propedéutica, es decir, necesaria para iniciar estudios medios profesionales o medios superiores.

La secundaria general se ofrece a la población de 12 a 16 años de edad que haya concluido la educación primaria. Es propedéutica para cursar la educación media profesional o media superior.

La secundaria para trabajadores atiende a la población que por rebasar los 16 años o por formar parte de la fuerza de trabajo no puede cursar la general.

La telesecundaria, o secundaria por televisión, atiende a los adolescentes de comunidades dispersas que carecen de escuelas secundarias.

La secundaria técnica capacita a los educandos en actividades productivas, sean industriales, agropecuarias, pesqueras o forestales

OBJETIVOS

ABS

- El objetivo general de la educación secundaria es que el educando profundice los conocimientos y amplíe las habilidades adquiridas en la educación primaria.
- Que el educando conozca las opciones educativas que puede seguir o que se incorpore a la fuerza de trabajo.

SECRETARIA DE EDUCACION PUBLICA

EDUCACION SECUNDARIA.

TOTAL DE ALUMNOS, GRUPOS, ESCUELAS Y PERSONAL DOCENTE.

	<i>年度</i>	<i>生徒数</i>	<i>クラス数</i>	<i>学校数</i>	<i>教職員数</i>
ANO LECTIVO	ALUMNOS	GRUPOS	ESCUELAS	PERSONAL DOCENTE	
87-88	4'117,871	117,904	18,020	238,739	
88-89	4'355,334	122,211	18,516	233,784	
89-90	4'267,156	124,716	18,686	233,042	
90-91	4'190,190	127,058	19,228	234,293	
91-92	4'160,692	129,766	19,672	235,832	

EDUCACION SECUNDARIA

TOTAL NACIONAL

ALUMNOS POR GRADO Y SEXO

学年、性別、生徒数

		<i>1年生</i>	<i>2年生</i>	<i>3年生</i>	<i>総数</i>
		PRIMERO	SEGUNDO	TERCERO	TOTAL
87-88	MUJERES <i>女</i>	--	--	--	--
	HOMBRES <i>男</i>	--	--	--	--
	TOTAL	--	--	--	--
88-89	MUJERES <i>女</i>	765,075	703,249	642,162	2'110,486
	HOMBRES <i>男</i>	847,238	747,650	649,960	2'244,848
	TOTAL	1'612,313	1'450,899	1'292,122	4'355,334
89-90	MUJERES <i>女</i>	747,884	691,034	635,356	2'074,324
	HOMBRES <i>男</i>	826,684	728,671	637,477	2'192,832
	TOTAL	1'574,568	1'419,755	1'272,833	4'267,156
90-91	MUJERES <i>女</i>	733,239	682,721	625,525	2'041,485
	HOMBRES <i>男</i>	809,370	716,144	623,191	2'148,705
	TOTAL	1'542,609	1'398,865	1'248,716	4'190,190
91-92	MUJERES	733,185	675,129	623,245	2'031,559
	HOMBRES	803,441	708,687	617,005	2'129,133
	TOTAL	1'536,626	1'383,816	1'240,250	4'160,692

FUENTE ESTADISTICA BASICA DEL SISTEMA EDUCATIVO NACIONAL
1987 - 1992 - SEP

SECRETARIA DE EDUCACION PUBLICA

中学校教育

EDUCACION SECUNDARIA.

MATRICULA - INSCRIPCION

生徒数

		1987-1988	1988-1989	1989-1990	1990-1991	1991-1992
FEDERAL 連邦政府立学校	GENERAL Y PARA SECUNDARIAS 一般及中等教育用中学	1'882,091	1'824,388	1'749,001	1,672,041	1'617,364
	TELESECUNDARIA テレビ中学	196,004	207,296	213,520	218,590	222,209
	TECNICAS 技術中学	1'023,131	1'035,944	1'032,983	1'021,451	1'030,301
	TOTAL 合計	3'101,226	3'067,628	2'995,504	2'912,082	2'869,874
ESTATAL Y AUTONOMO 自治学校	GENERAL Y PARA SECUNDARIAS 一般及中等教育用中学	632,189	645,464	637,018	632,484	630,427
	TOTAL 合計	929,842	940,173	931,552	940,215	952,701
ESTATAL 州立	TELESECUNDARIA テレビ中学	244,895	240,303	239,384	250,617	261,711
	TECNICAS 技術中学	52,758	54,406	55,150	57,114	60,563
	TOTAL 合計	297,653	294,709	294,534	307,731	322,274
PARTICULAR 私立	GENERAL Y PARA SECUNDARIAS 一般及中等教育用中学	333,481	298,597	292,865	293,572	294,548
	TELESECUNDARIA テレビ中学	593	756	766	886	963
	TECNICAS 技術中学	50,149	48,180	46,469	43,435	42,606
	TOTAL 合計	384,223	347,533	340,100	337,893	338,117

SECRETARIA DE EDUCACION PUBLICA

EDUCACION SECUNDARIA.

PERSONAL DOCENTE Y DIRECTIVO: 教师及教

各项目的
数字之和

		1987-1988	1988-1989	1989-1990	1990-1991	1991-1992
FEDERAL	GENERAL Y PARA SECUNDARIAS	94,364	91,494	88,450	87,476	86,380
	TELESECUNDARIA	7,152	7,485	8,167	8,887	9,456
	TECNICAS	50,798	49,841	50,954	50,587	51,186
	TOTAL	152,385	148,820	147,571	146,950	147,022
ESTATAL Y AUTONOMO	GENERAL Y PARA SECUNDARIAS	38,920	39,929	40,150	40,497	40,278
	TOTAL	54,767	56,306	57,125	50,283	59,098
ESTATAL	TELESECUNDARIA	12,367	12,931	13,387	13,952	14,769
	TECNICAS	3,480	3,446	3,588	3,834	4,051
	TOTAL	15,847	16,377	16,975	17,786	18,820
PARTICULAR	GENERAL Y PARA SECUNDARIAS	27,585	24,754	24,448	25,226	25,872
	TELESECUNDARIA	24	33	42	43	40
	TECNICAS	3,978	3,871	3,856	3,791	3,800
	TOTAL	31,587	28,658	28,346	29,060	29,712

SECRETARIA DE EDUCACION PUBLICA

EDUCACION SECUNDARIA
MATRICULA POR MODALIDAD

中学校の417別
生徒数

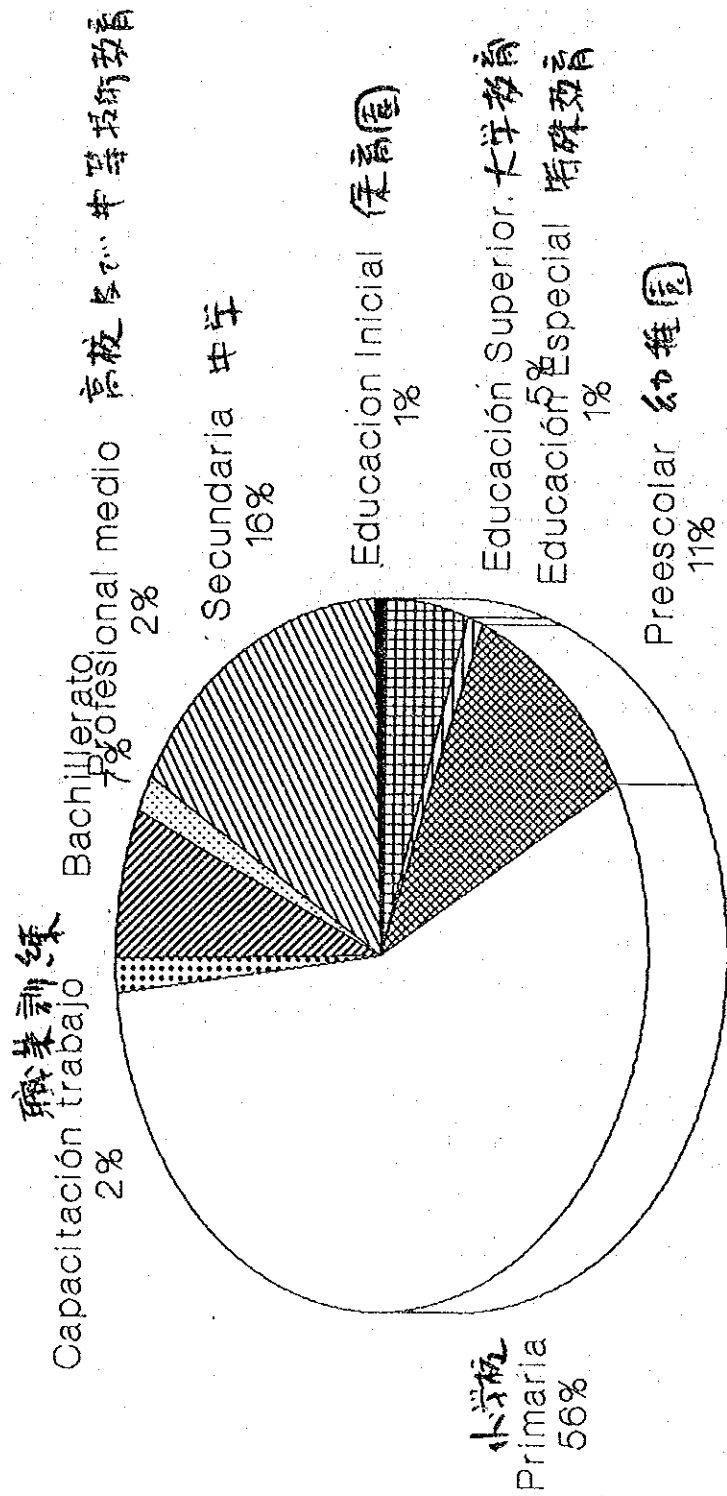
一般用の
中学校

	1987-88	1988-89	1989-90	1990-91	1991-92
GENERAL Y PARA TRABAJADORES	2'847,761	2'768,449	2'678,884	2'598,097	2'531,339 61.00064775
TELESECUNDARIA テレビ中学校	441,492 9.9%	448,355 10.29%	453,678 10.63%	469,583 11.20%	484,883 11.68%
TECNICA 技術中学	1'126,038	1'138,530	1'134,602	1'122,000	1'133,470 27.31455732
PARTICULAR	-----				
TOTAL 合計	4'415,291	4,355,334	4,267,164	4'189,680	4'149,692

ALUMNOS POR GRADO 学年別生徒数
TOTAL NACIONAL

	1987-88	1988-89	1989-90	1990-91	1991-92
PRIMERO 1年生	1'652,495	1'612,313	1'574,568	1'542,609	1'536,626
SEGUNDO 2年生	1'477,482	1'450,899	1'419,755	1'398,865	1'383,816
TERCERO 3年生	1'286,651	1'292,122	1'272,833	1'248,716	1'240,250
TOTAL 合計	4'416,628	4'355,334	4'267,156	4'190,190	4'160,692

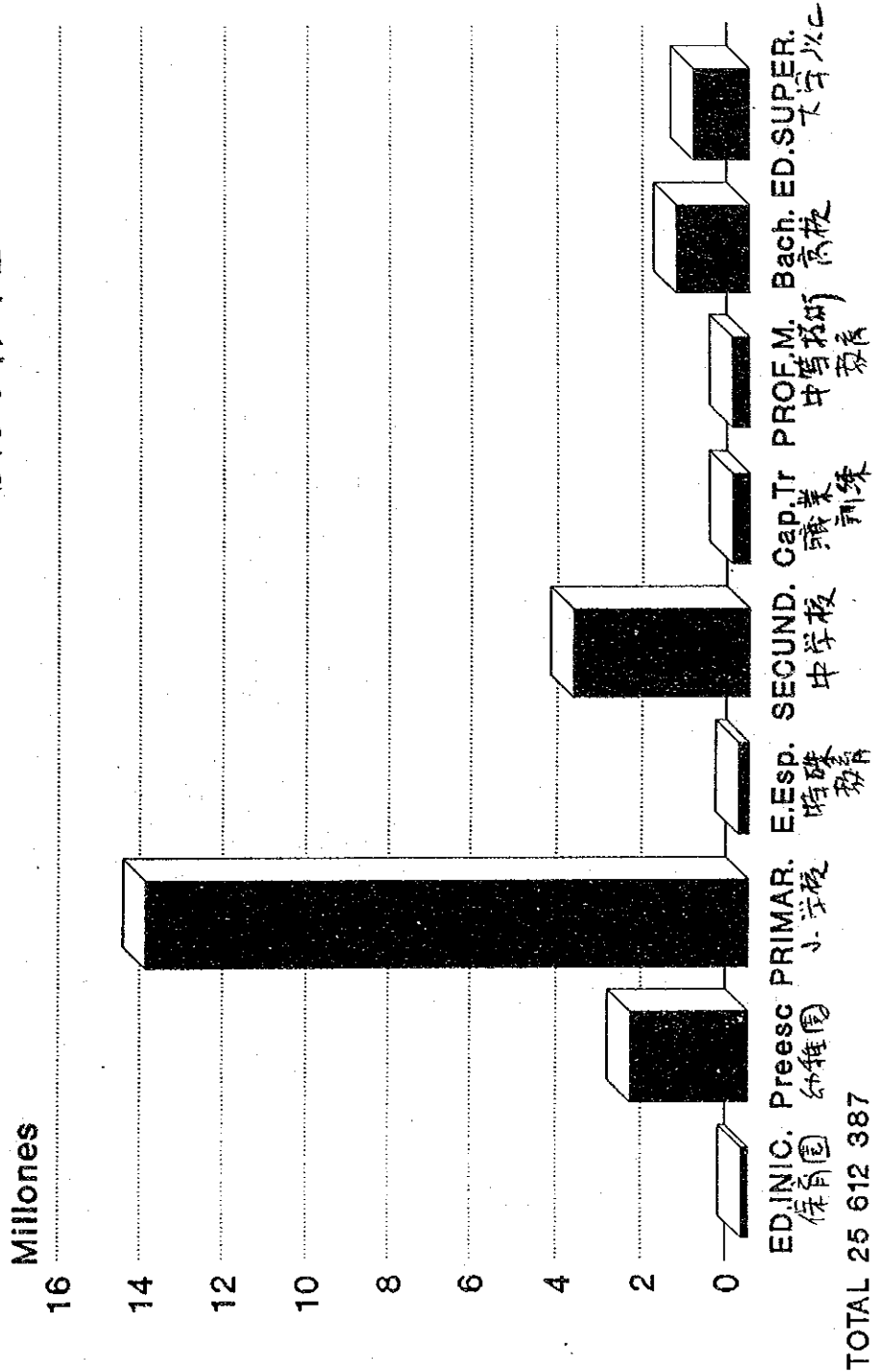
S. E. P. Sistema Nacional de Educación 国家教育制度



Total 25 612 387

S. E. P. SISTEMA NACIONAL EDUCATIVO

国家教育制度



EDUCACION SECUNDARIA

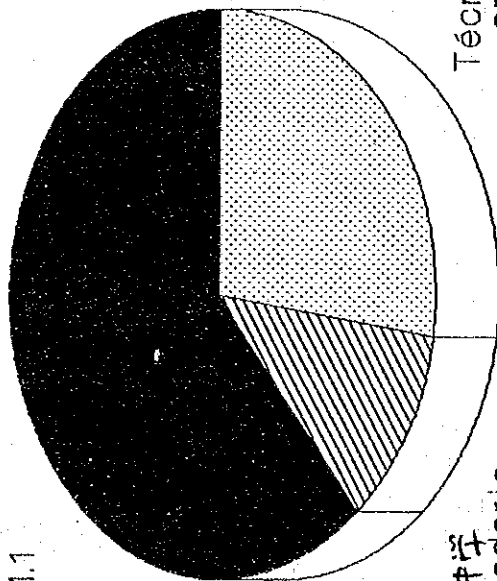
1991 - 1992

中学教育

一般及中等职业中学

Grales. y para trab.

61.1



无线电中学
Telesecundaria

11.6

技术中学

Técnicas

27.3

JICA